Panasonic®

DVD ホームシアターサウンドシステム
取扱説明書

品番 **SC-HT85**

保証書別添付

上手に使って上手に節電

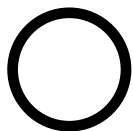
このたびは、DVD ホームシアターサウンドシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5610-S

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD のソフトと機器に割り当てられた番号です。

- **本機のリージョン番号は「2」です。**
- **本機は「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。**

ディスクについて

本機で再生できるディスク

本機で再生できないディスク

- リージョン番号に「2」または「ALL」の含まれない DVD ビデオディスク
- DVD オーディオディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- CD-ROM
- CDV
- CD-RW
- SACD
- CD-R
- DVD-R
- DVD+RW
- VSD
- CD-G
- CVD
- SVCD
- フォト CD　など

本書で使用しているディスク記号について

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。
本書では以下の記号を用いて、その説明箇所に当てはまるディスクを表わしています。

DVD　DVD で楽しめる機能です。
VCD　ビデオ CD で楽しめる機能です。
CD　音楽 CD で楽しめる機能です。

ディスクによっては、これらの記号が付いている操作でも、できないものがあります。

もくじ

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）**

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

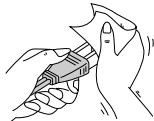
［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

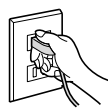
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

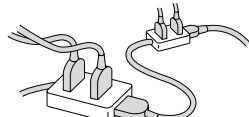
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

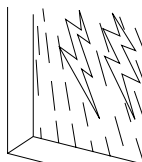
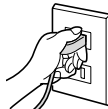
- 感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

以下のことを守り正しく設置する

- **不安定な場所に置かない**
- **上に大きなもの重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

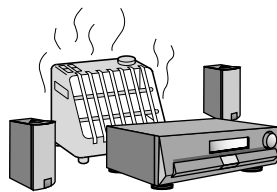
- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

付属のスピーカー以外は接続しない

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

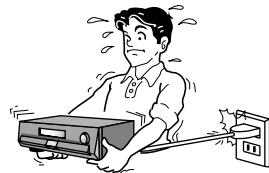
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

使用方法

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスク挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

- 倒れてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

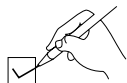
乾電池

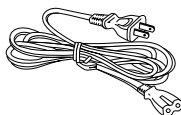
電池は正しく取り扱う

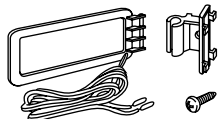
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

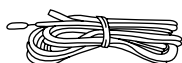
電池は誤った使い方をしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品

設置・接続のまえに、まず付属品を確かめてください。

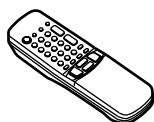
□ 電源コード ....1 本

(品番：RJA0059-J)

□ AM ループアンテナセット ....1 組

(品番：RSA0022-L)

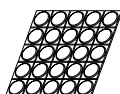
□ FM 簡易型アンテナ ....1 本

(品番：RSA0006-J)

□ ビデオコード ....1 本

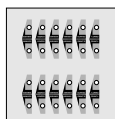
(品番：RJL1P016B15A)

□ リモコン ....1 個

(品番：EUR51989)

□ リモコン用単 3 形乾電池 ....2 個

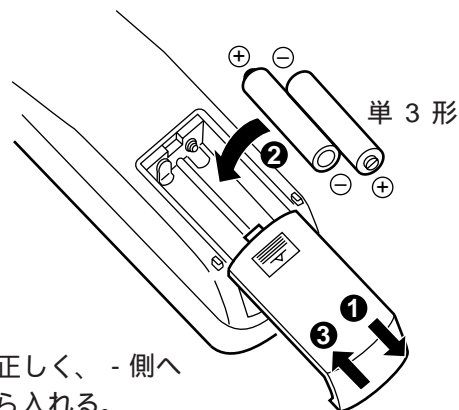
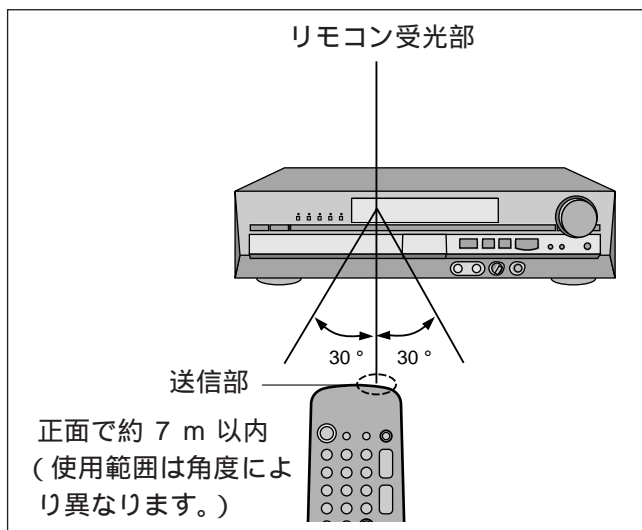
□ スピーカー用ゴム足 .....1シート (25 個)

(品番：RFA0631A-K)

※買い替え時のサービス供給品は 1 シート (4 個) です。

□ スピーカー用シール ......1 シート (2 組)

※1 組を予備として、お使いください。サービス供給品はありません。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ ( ) 内は買い替え時の品番です。

リモコンの準備

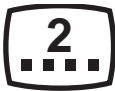
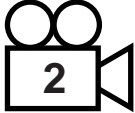
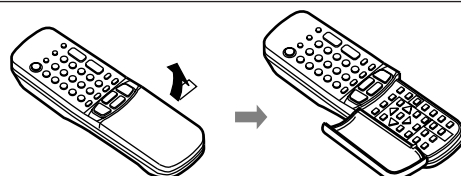
乾電池の入れかた

リモコンの使いかた

使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

リモコンのふたの開けかた

DVD の表示／カラオケディスクについて

DVD の表示について

DVD ビデオディスクのジャケットの裏には、次のような表示があります。

リージョン番号 	著作権保護のために設定された地域限定番号です。 ディスクの番号と機器の番号が一致していないと再生できません。 本機で再生できるディスクは「2」(または「2」を含むもの) と「ALL」の表示のあるディスクです。
音声トラック数 **音声記録方式** 	数字は音声トラックが何種類記録されているかを表わしています。右側に記載されているのは、そのトラックに収録されている言語と記録方式です。 表示例は、英語と日本語の 2 種類の言語の記録があり、それらが、Dolby Digital 5.1 チャンネルで記録されていることを表わしています。
字幕 1:日本語字幕 2:英 語 字 幕	収録されている字幕の数と、その言語を表わします。 表示例は、日本語字幕と、英語字幕の 2 種類で記録されていることを表わしています。
マルチアングル 	マルチアングルのディスクであることを表わしています。また、数字は、何種類のアングルで記録されているかを表わします。
画面サイズ	どのような画面サイズで記録されているかを表わします。
4:3	4：3 画面サイズで記録されています。
LB	レターボックス (4：3 で上下に帯が入っている画面) で記録されています。
16:9 LB	ワイドテレビではワイド画像を、4：3 のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。
16:9 PS	ワイドテレビではワイド画像を、4：3 のテレビでは左右をカットした 4：3 の画像を楽しめるように記録されています。

カラオケディスクについて

下記のとおりに構成されていないディスクもあります。

DVD 5ch

	音声番号 (ストリーム) 1
1ch	ステレオ伴奏 (左)
2ch	ステレオ伴奏 (右)
3ch	ガイドメロディー (ボーカル部のメロディーライン)
4ch	模範歌唱 1
5ch	模範歌唱 2

DVD 2ch

	音声番号 (ストリーム)1	音声番号 (ストリーム) 2
1ch	ステレオ伴奏 (左)	ステレオ伴奏 (左)+模範歌唱
2ch	ステレオ伴奏 (右)	ステレオ伴奏 (右)+模範歌唱

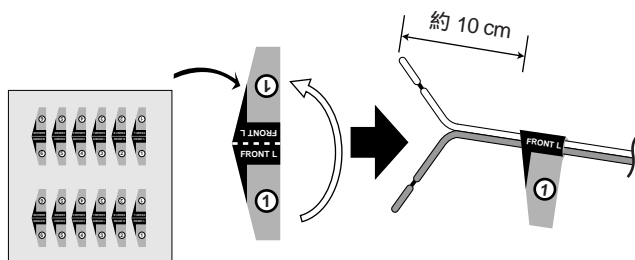
ビデオ CD など

1ch	モノラル伴奏
2ch	モノラル伴奏 + 模範歌唱

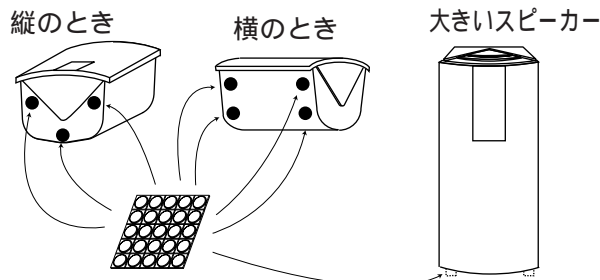
スピーカーの接続

※別添チラシ “スピーカーの設置と接続について” もご覧ください。

1 スピーカーコードにシールを貼る

小さいスピーカーは 5 つとも同じ大きさ、同じ性能です。

付属のシールを貼る。
①～⑤：小さいスピーカーに
（フロント×2、サラウンド×2、センター×1）
⑥　　：大きいスピーカーに（サブウーハー）

2 スピーカーにゴム足を貼る

小さいスピーカーは縦横どちらでも設置できます。
各スピーカーとも振動による移動や転倒を防ぐため、設置する方向の底面にゴム足 (付属) を貼ってください。

ゴム足は 1 シート (25 個) 付属しています。スピーカー1つにつき 3～4 個の割合で使用してください。

3 スピーカーを設置する

①～⑥ のシールを貼ったスピーカーが上の図のような位置になるように設置してください。

※ 視聴位置からフロント/センター/サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。なお、角度はあくまでも目安です。

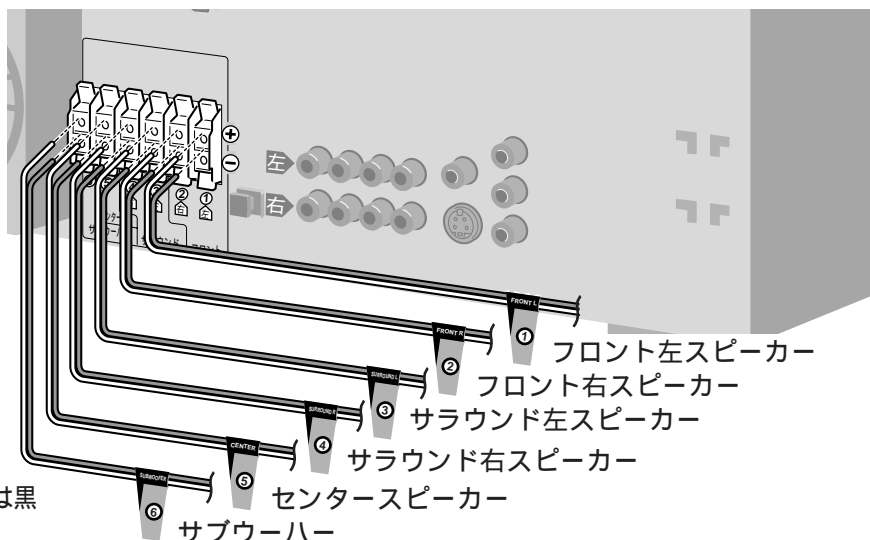
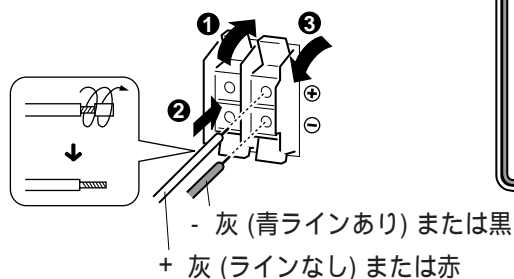
フロントスピーカー (①, ②) はテレビの左右に、
センタースピーカー (⑤) はテレビ近くの上または下に、
サラウンドスピーカー (③, ④) は視聴位置の左右（横またはやや後ろ）に、耳の位置より 1 m ほど高く、
サブウーハー(⑥)はテレビの近くで、床やしっかりした台など、振動しにくい場所に、
それぞれ設置してください。

お知らせ

- センタースピーカーを直接テレビの上に設置すると、振動によりテレビの画面が乱れることがあります。ラックや棚などに設置してください。
- サラウンドスピーカーを設置する場所がないときは、フロントスピーカーに並べて設置することもできます。(バーチャルリアサラウンド⇒ 40 ページ)

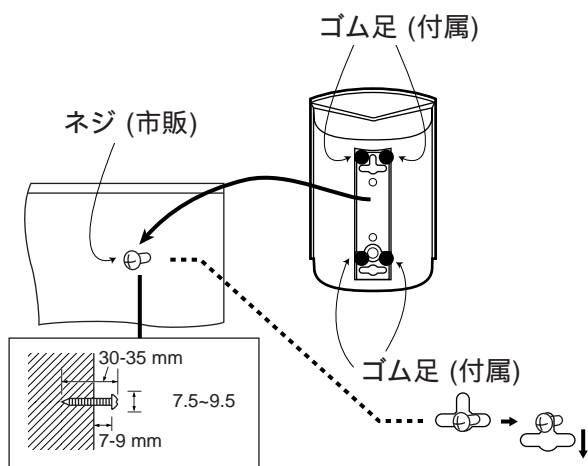
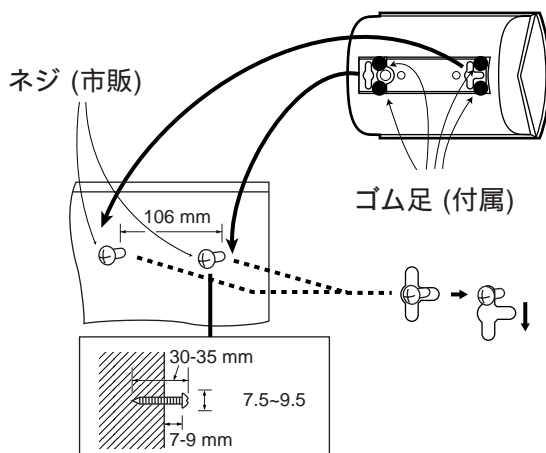
4 スピーカーと本機を接続する

スピーカーコード
(スピーカー直出し)

- シールの番号と本機の後面の番号が一致するように接続する。
- 左、右と㊉、㊀を正しく接続する。
- 芯線は、ショートしないよう奥までしっかり差し込む。

お願い

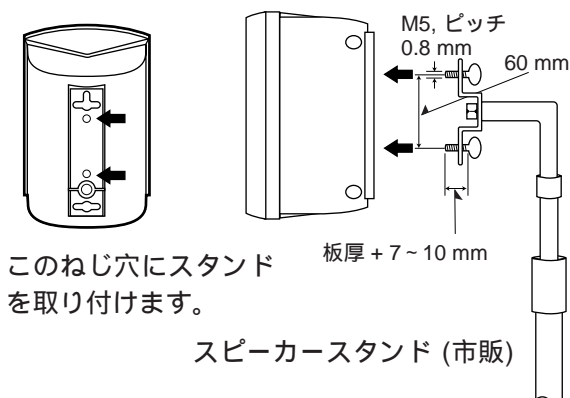
- スピーカーコードの配線処理は確実に行ってください。スピーカーコードの長さに余裕があるときは、束ねてひもでくくるなどして、邪魔にならないようその処理には十分ご注意ください。

壁に取り付ける

縦向きに取り付けるときは

※ゴム足（付属）はネジを引っかける穴に沿って穴をふさがないように 4 ヶ所に貼ってください。

お願い

- 壁に取り付ける場合は、壁に、5 kg 以上の重量を支えられる強度が必要です。くわしくは施工者の方などにご相談ください。

スピーカースタンドに取り付ける

このねじ穴にスタンドを取り付けます。

スピーカースタンド（市販）

お願い

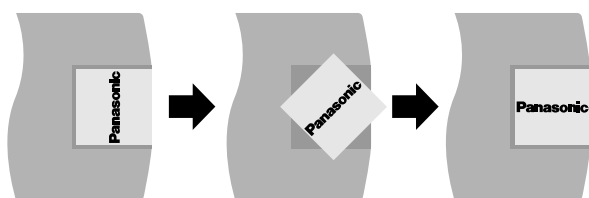
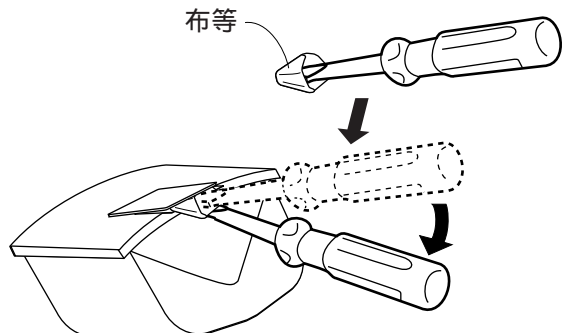
スピーカースタンドをお買い求めの際は、下記の点をご確認ください。

- スピーカーを取り付けるためのネジの径および長さ、ネジとネジとの間隔が左の図を満たしていること。
- 5 kg 以上の重量に耐えうる強度を有していること。
- スピーカーの位置を高くしても、安定した設置が可能であること。

ブランドのプレートの向きを変える

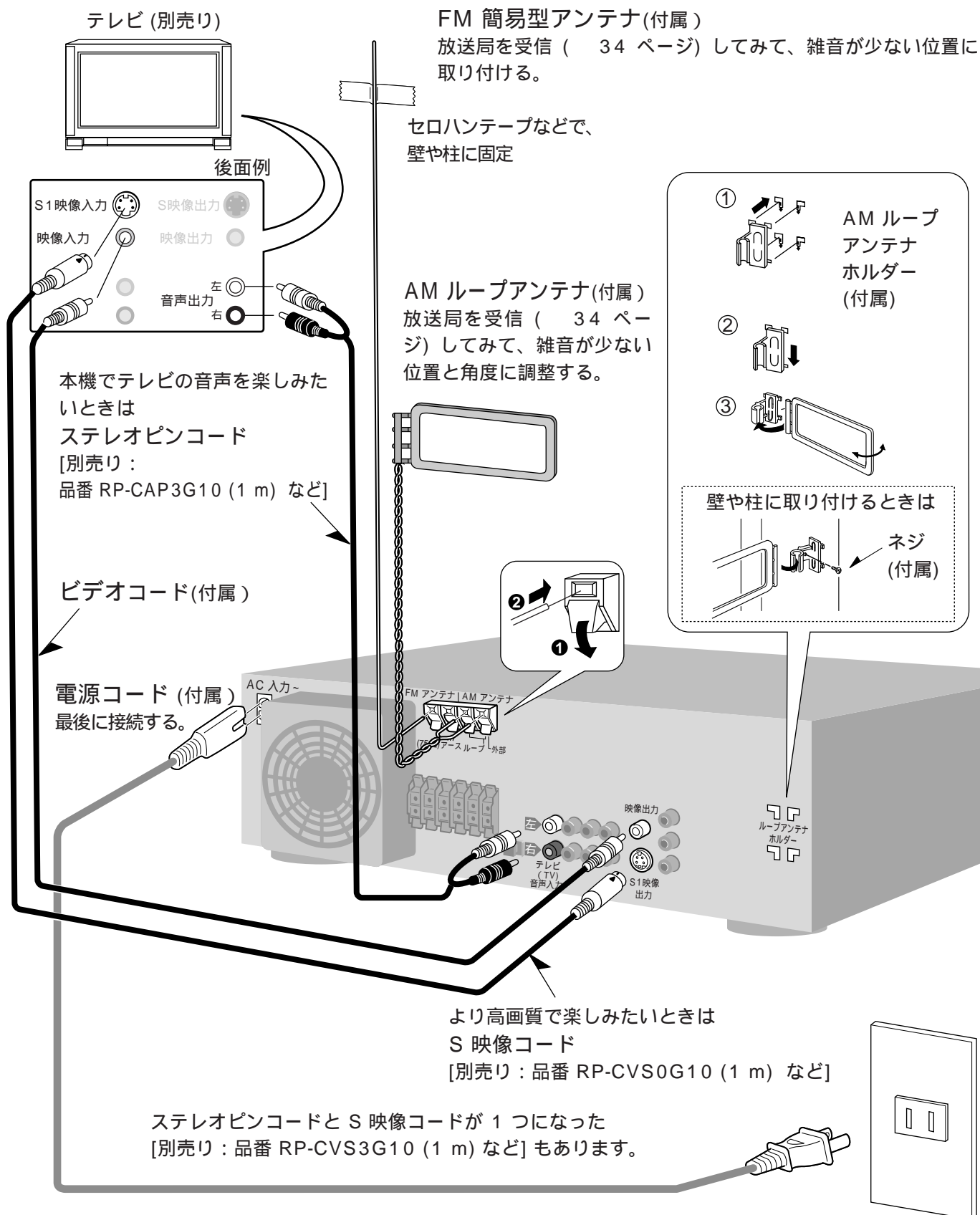
小さいスピーカーを横に向けて設置するときは、Panasonic のブランドのプレートを水平になるように回転させることもできます。

(傷が付く恐れがあります。マイナスドライバーの先に布等を必ず巻いてから行なってください。)

ブランドのあるプレートの下にマイナスのドライバーを差し込みプレートを浮かせます。プレートを浮かせたら、手でプレートごと回転させてください。

落下の危険がありますので、必ず水平な場所にぐらつきなどのないように設置してください。それ以外の場所への設置は、落下防止などの十分な安全対策を行ってください。

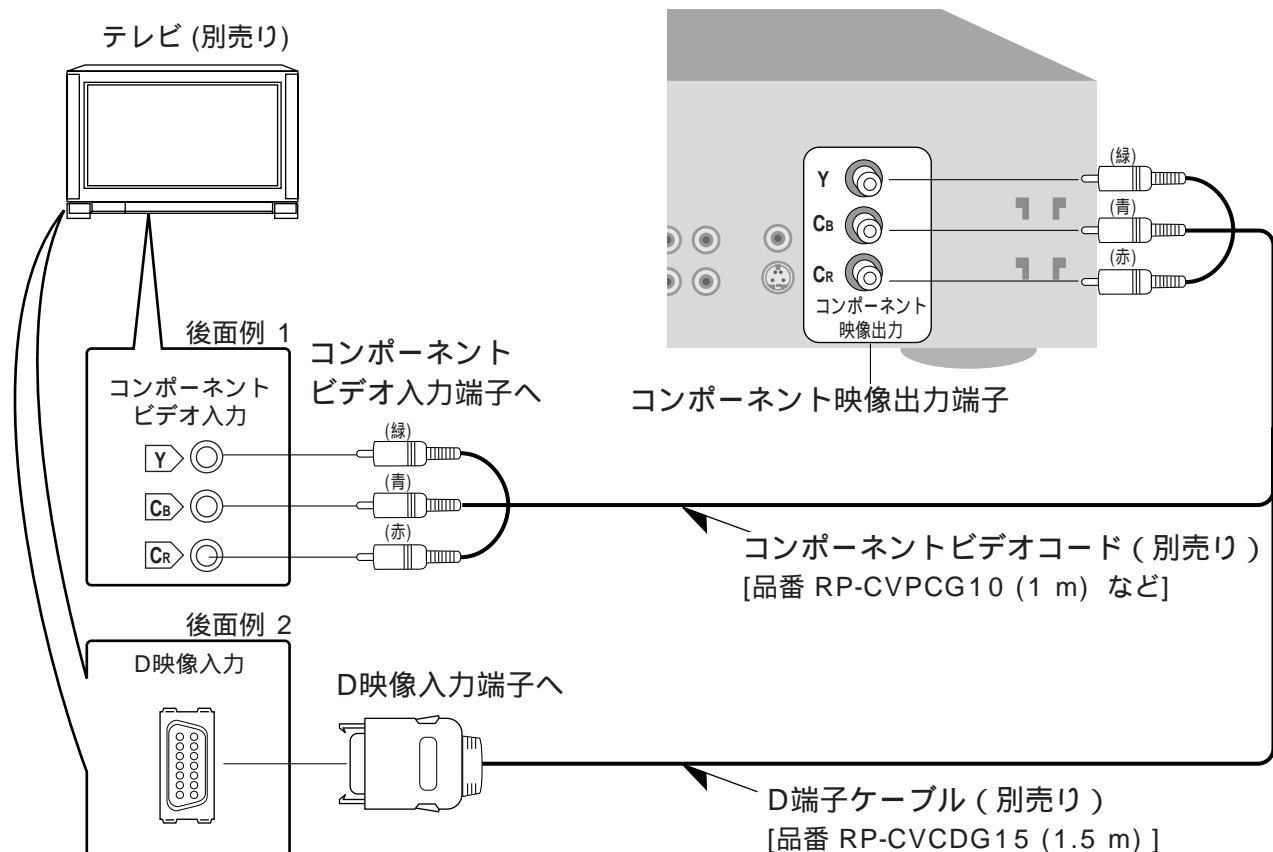
お知らせ

- スピーカーネットは取り外しができません。

テレビ、アンテナ、電源コードの接続

お願い

- 付属の電源コードは、本機専用です。
  他の機器に使用しないでください。

他の映像入力端子に接続するには

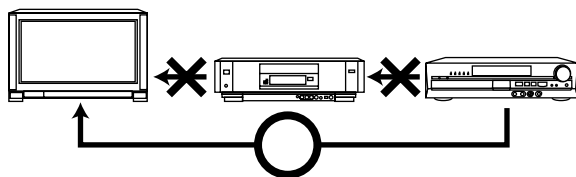
より良い映像のために、コンポーネント映像入力端子に接続することをおすすめします。輝度信号（Y）、コンポーネント信号（CB,CR）に分離されている映像情報をそのまま伝えるため、色を忠実に再現します。

お知らせ

- テレビにより、コンポーネントビデオ入力の表示が異なる場合があります。（Y、PB、PRやY、B-Y、P-Yなど）
  この場合、同じ色の端子どうしを接続してください。
- テレビにより、D映像入力端子の表示が異なる場合があります。
  本機はD1／D2／D3映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されます。例えば、テレビに合わせて画面の比率を自動的に切り換える、アスペクト比の自動切換などは働きません。

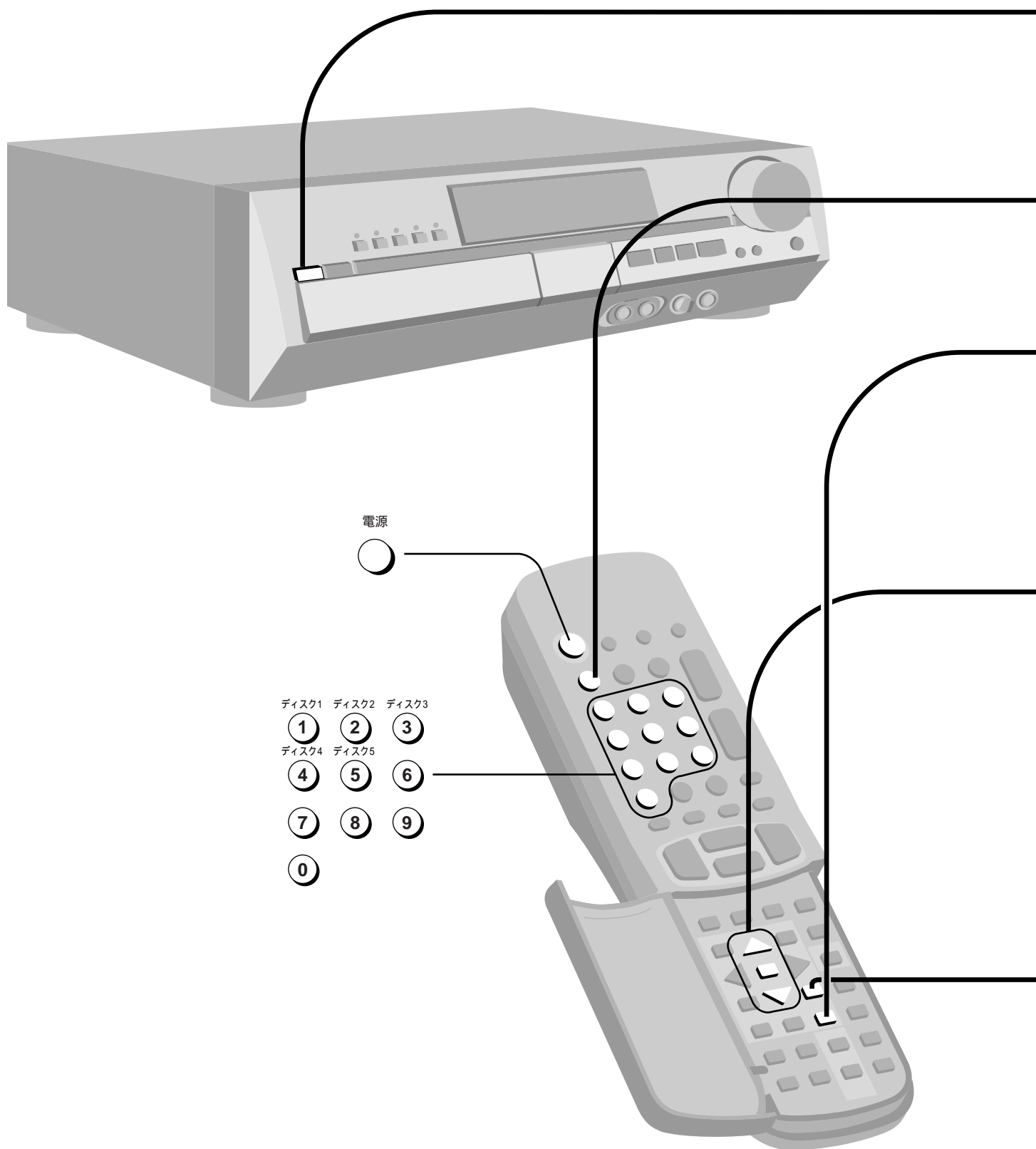
お願い

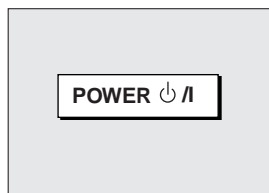
- 接続した端子に合わせて、テレビ側で入力を切り換えてください。
- DVDに対応していない、ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。（映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。）

お願い

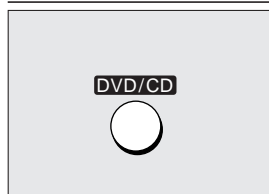
- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキなどを通すと、コピーガードの影響を受け、再生時に画面が乱れることがあります。

テレビに合わせて設定する

ご使用のテレビの種類により、画面のサイズの設定をします。
初期設定は従来のテレビ（4：3）になっています。4：3 のテレビをお使いの場合はこの設定は不要です。

準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)

1

押して
電源を入れる

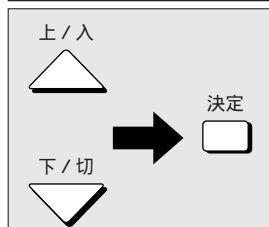
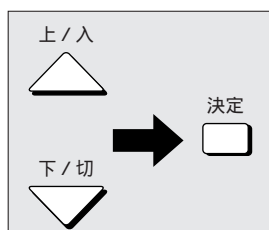
リモコンでは
[電源] を押す。

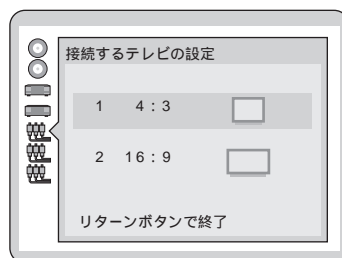
2

押して
“ DVD/CD ” を選ぶ

3

押してテレビに
初期設定画面を出す

テレビ画面

4

① 押して
“ 5 接続する TV ” を選ぶ

② 押して
サイズを選ぶ

4：3　　従来のテレビ
16：9　　ワイドテレビ
設定後は、初期設定画面に戻ります。

5

初期設定画面の状態で
押して
終了する

■ 手順 4 は、数字ボタンでも操作できます。
それぞれ項目の前にある数字のボタンを押してください。
(例) 手順 ① では [5] を押す。

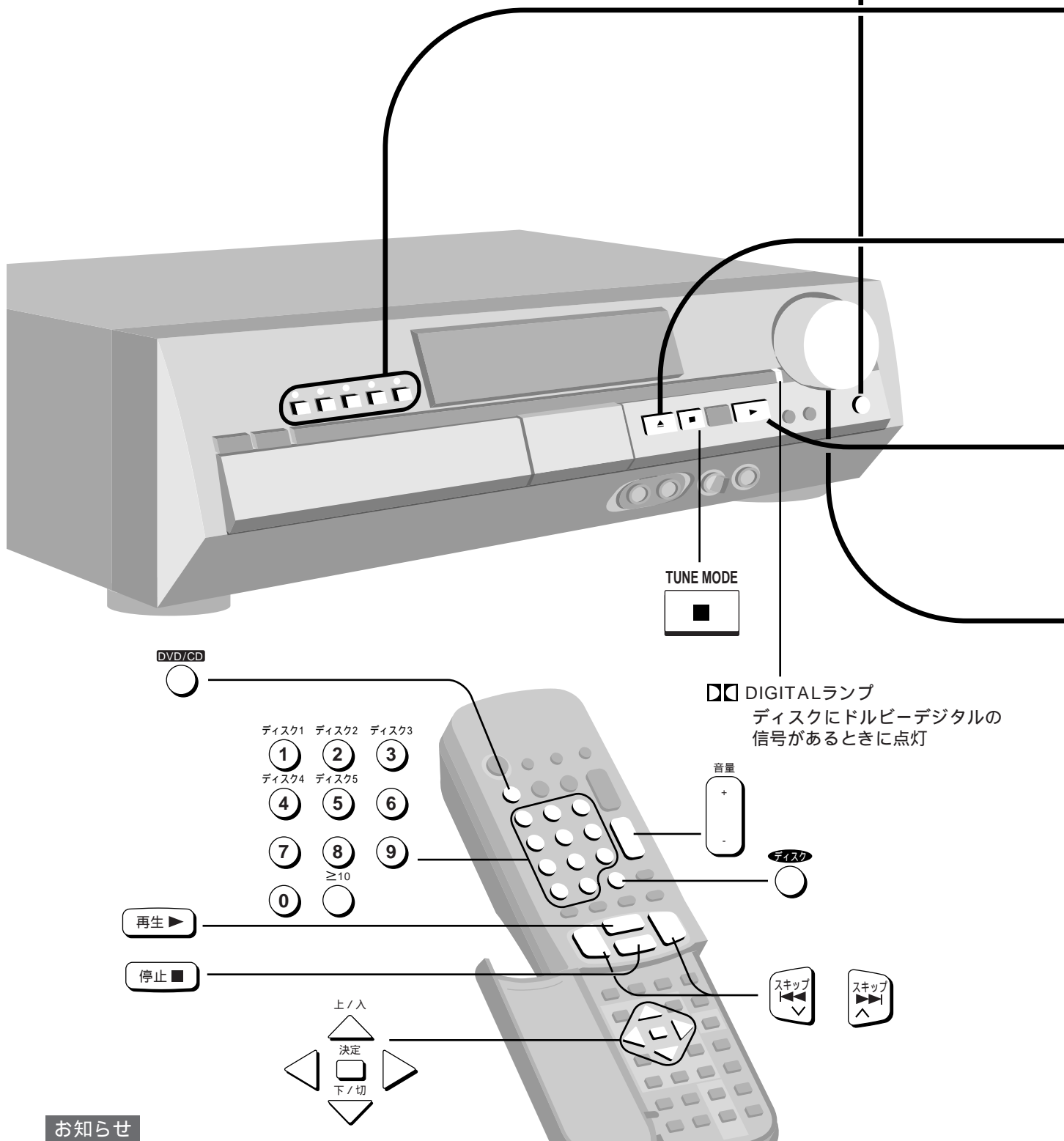
映画や音楽を楽しむ

DVD **VCD** **CD**

準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)

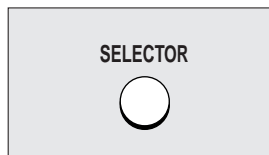
お知らせ

- DVDでは、複数のディスクの連続再生はできません。
- ビデオ CD、CD を連続再生するには (ディスクマネージャー ⇒30 ページ)

お知らせ

- ⃠ この表示がテレビ画面に出た場合は、本機かディスクがその操作を禁止していることを示しています。

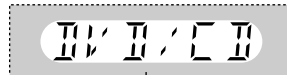
1

SELECTOR

押して

DVD/CD を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。

本体表示窓

DVD/CD

本体のボタンのみ
押すたびに

2

いずれかを押して

ディスクを選ぶ

選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。

NO DISC

ディスクが入っていないことを示しています。

リモコンでは
[ディスク] を押してから、[ディスク1]〜[ディスク5] を押す。

3

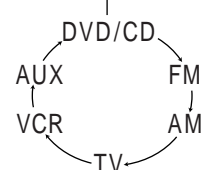
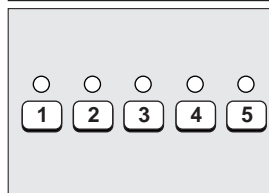
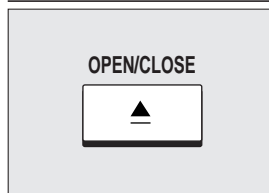
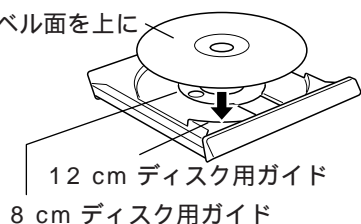
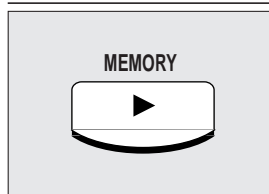
OPEN/CLOSE

押して

トレイを開け、ディスクを入れる

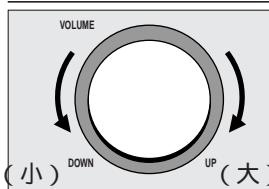
もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。

4

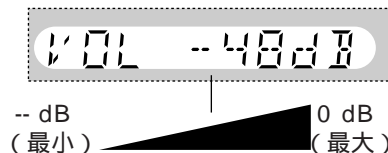
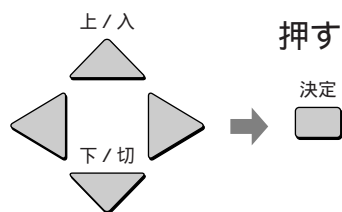
MEMORY

手順 3 で再生が始まらないときは
押して

再生を始める

リモコンでは
[再生▶] を押す。

5

回して

音量を調整する

リモコンでは
[音量 (+ または−)] を押す。

VOL --48dB

■ テレビにメニューが表示されたら

(表示例)

押して

メニューを選び

押す

決定

または

ディスク1 ディスク2 ディスク3 ディスク4 ディスク5
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

押して

メニュー番号を選ぶ

10 以上のとき
10：[≧10]→[1]→[0]
11：[≧10]→[1]→[1]

お知らせ

- ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。

メニューに続きがあるときは
リモコンのスキップ［⏮］または［⏭］を押す。
ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。

■ 再生を停止するには

(続き再生メモリー⇒20 ページ)

TUNE MODE
■
押す

リモコンでは
[停止 ■] を押す。

カラオケを楽しむ

DVD VCD CD

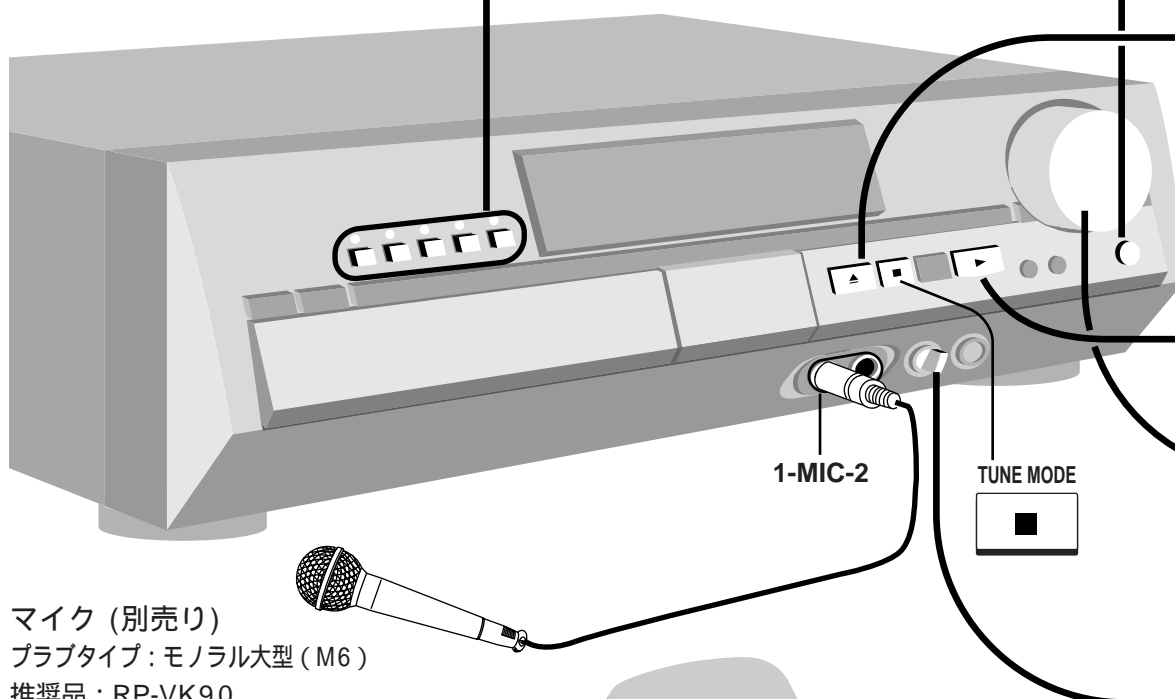
準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)
- 本機にマイクを接続する。

お知らせ

- マイクを接続すると、強制的に**ステレオ音声 (2ch)** になり、センターやサラウンドスピーカーからは音が出なくなります。

1-MIC-2

TUNE MODE

マイク (別売り)
プラブタイプ：モノラル大型（M6）
推奨品：RP-VK90、
RP-VK120 など

ディスク1 ディスク2 ディスク3
1 2 3
ディスク4 ディスク5
4 5 6
7 8 9
≧10
0

DVD/CD

音量 + −

ディスク

再生 ▶

停止 ■

上／入
決定
下／切

スキップ |◀◀ ∨

スキップ ▶▶| ∧

お知らせ

- ⃠ この表示がテレビ画面に出た場合は、本機かディスクがその操作を禁止していることを示しています。

1

SELECTOR

押して

DVD/CD を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。

本体表示窓 DVD/CD

本体のボタンのみ
押すたびに
DVD/CD → FM → AM → TV → VCR → AUX

2

いずれかを押して

ディスクを選ぶ

選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。

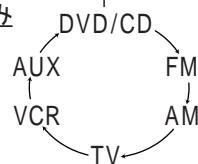
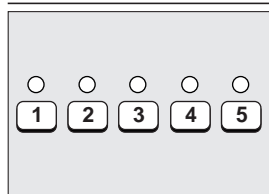
NO DISC

ディスクが入っていないことを示しています。

リモコンでは
[ディスク] を押してから、[ディスク1]〜[ディスク5] を押す。

3

OPEN/CLOSE

押して

トレイを開け、ディスクを入れる

もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。

4

手順 3 で再生が始まらないときは
押して

再生を始める

リモコンでは
[再生 ▶] を押す。

5

回して

再生の音量を調整する

リモコンでは
[音量 (+ またはー)] を押す。

VOL --48dB

-- dB (最小)　0 dB (最大)

6

歌いながら、回して

マイクの音量を調整する

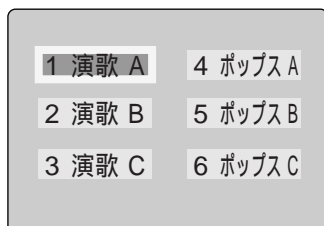
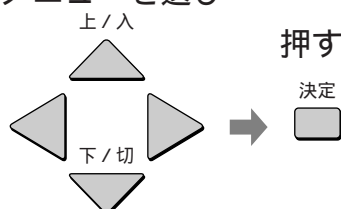
■ テレビにメニューが表示されたら

(表示例)

押して

メニューを選び

押す

決定

または

押して

メニュー番号を選ぶ

10 以上のとき
10：[≧10]→[1]→[0]
11：[≧10]→[1]→[1]

お知らせ

● ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。

メニューに続きがあるときは
リモコンのスキップ［⏮］または［⏭］を押す。
ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。

■ 再生を停止するには

(続き再生メモリー⇒20 ページ)

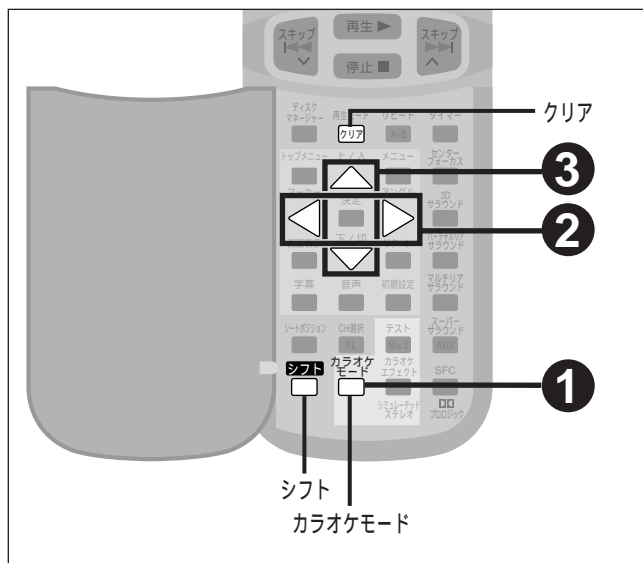
TUNE MODE ■ **押す**

リモコンでは
[停止 ■] を押す。

ガイドメロディやボーカルを入／切する

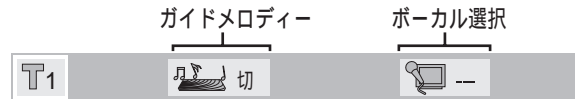
DVD

模範旋律（ガイドメロディ）や模範歌唱（ボーカル）を入／切できるので、カラオケの練習に便利です。

ガイドメロディ (DVD 5 ch カラオケディスクのみ)
ボーカル部のメロディラインを演奏します。
ディスクにガイドメロディが記録されている場合のみ行えます。
ボーカル選択 (カラオケディスクのとき)
ボーカルの「入」「切」を選びます。

再生中にリモコンの

1 [カラオケモード] を押す

カラオケ GUI 画面がテレビに表示されます。

ガイドメロディー　ボーカル選択
T1　切　---

2 [◁] または [▷] を押して 項目 (ガイドメロディまたはボーカル選択) を選ぶ

3 [△] または [▽] を押して 設定をする

ガイドメロディーのとき
「1」：あり（通常の音量） 「2」：あり（音量大） 「切」：なし 「切」では、伴奏だけになります。
ボーカル選択のとき
DVD（ソロ)の場合 「---」：ボーカルなし 「入」：ボーカルあり DVD（デュエット) の場合 「---」：ボーカルなし 「1+2」：ボーカル1、2ともあり 「V1」：ボーカル1のみ 「V2」：ボーカル2のみ

■ カラオケ GUI 画面を消すときは

[カラオケモード] を押す。
または、[シフト] を押しながら[クリア] を押す。

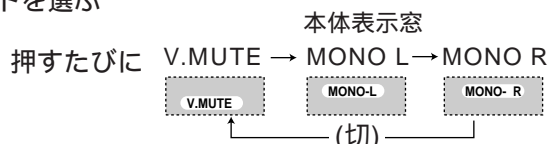
お知らせ

- カラオケモードは一部のディスクでは使用できません。

ビデオ CD や CD でボーカルを入／切するには

VCD　CD

再生中にリモコンの [カラオケモード] を押して モードを選ぶ

本体表示窓
押すたびに　V.MUTE → MONO L→MONO R
V.MUTE　MONO-L　MONO- R
(切)

V.MUTE (ボイスミュート) (通常の音楽CDなどのとき)
ディスクに収録されているボーカルの音量を小さくします。(完全には消えません)
MONO L, MONO R (音多ディスクのとき)
左チャンネル（L)、右チャンネル（R）の音声だけになります。ボーカルの音が消える方を選んでください。

お知らせ

- 本機にカセットデッキ等を接続(⇒44 ページ)して、カラオケを楽しむときにも使えます。
- ソースによっては選べないことがあります。
- ボイスミュートはボーカルの音声を完全に消すものではありません。また、モノラル録音されたディスクでは使用できません。

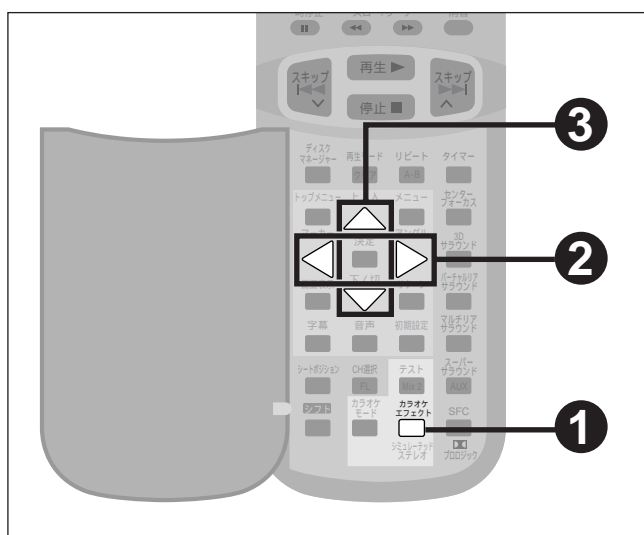
カラオケにエフェクト(効果) をかける

DVD VCD CD

KEYCON（キーコン）
キー (音の高さ) を調整します。

ECHO（エコー）
エコーをかけます。

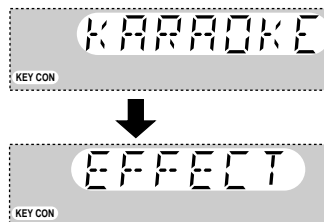
CHORUS（コーラス）
コーラスをしている雰囲気を作ります。

LOUNGE（ラウンジ）
エコーをかけたマイクの音をセンターとサラウンドスピーカーから出すことによって、ラウンジで楽しんでいる雰囲気を作ります。

■ カラオケエフェクトを解除するには

本体表示窓の " KEYCON " 表示が消えるまで、 [カラオケエフェクト] を押す。
KARAOKE EFFECT OFF " が表示されます。
再度、カラオケエフェクトをオンにしたときには、前回の設定 (解除したときの状態) になります。

リモコンの

1 [カラオケエフェクト] を押す

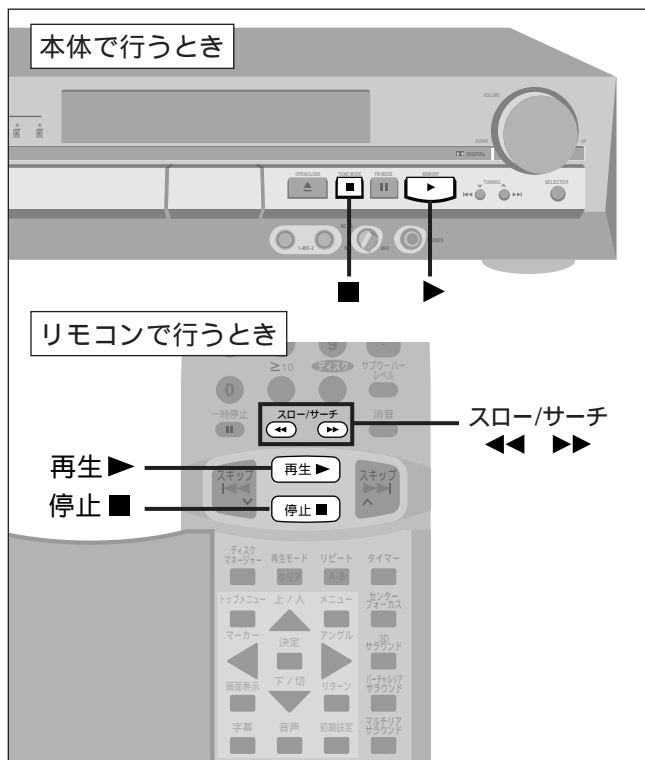
本体表示窓

2 5 秒以内に
[◁] または [▷] を押して
エフェクトを選ぶ
押すたびに

KEYCON ⟷ ECHO ⟷ CHORUS ⟷ LOUNGE
↑_________________________________↑

3 **各エフェクトの表示中に**
[△] または [▽] を押して
好みのレベルにする
押すたびに

KEYCON のとき
−3 ⟷ −2 ⟷ −1 ⟷ 0 ⟷ +1 ⟷ +2 ⟷ +3
ECHO のとき
1 ⟷ 2 ⟷ 3 ⟷ OFF (OFF ⟷ 1)
CHORUS のとき
1 ⟷ 2 ⟷ OFF (OFF ⟷ 1)
LOUNGE のとき
1 ⟷ 2 ⟷ 3 ⟷ OFF (OFF ⟷ 1)

お知らせ

- 本機にカセットデッキ等を接続した場合でも、カラオケエフェクトは使えます。
- エコーとラウンジの効果を同時に効かせることはできません。

早戻し／早送り

DVD VCD CD

再生中にリモコンの

スロー／サーチ [◀◀] または [▶▶] を押す

テレビ画面

◀◀ ：戻し方向

▶▶ ：送り方向

- 押すたびに、5 段階まで速くなります。
- DVD、ビデオ CDのとき
  早送り 1 のときは、音声が聞こえます。
  初期設定の中のエキスパート設定で、この音声のあり/なしの設定ができます。(⇒ 48 ページ)
- 音楽 CD のとき
  早送り 5 のときでも音声は聞こえます。

■ 通常再生に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

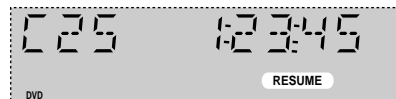
- プレイバックコントロール付きビデオ CD をメニュー画面から再生を始めたときこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

止めた位置から再生する (続き再生メモリー)

DVD VCD CD

前に見ていた (聞いていた) 続きから再生できます。
[■] を押して再生を止めると、“ RESUME ” が点灯します。

本体表示窓

C25　1:23:45　RESUME　DVD

“ RESUME ” が点灯している状態で

[▶] を押す

前回停止した位置から再生が始まります。

■ 続き再生メモリーを解除するには

“ RESUME ” の点灯中に [■] を押す。

お知らせ

- 電源を切っても続き再生メモリーは保持されます。ただし、トレイを開けたり、ディスクを入れ替えたときは解除されます。
- 再生しても時間表示が出ないタイプのディスクでは、続き再生メモリーが働きません。

止めた位置までのあらすじを見るには (あらすじリプレイ)

DVD

停止した位置までの各チャプターを少しずつ再生して、あらすじを確かめることができます。
“ RESUME ” の点灯中に [▶] を押すと、テレビ画面に次のメッセージが表示されます。

テレビ画面

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります

メッセージが表示されている状態で

[▶] を押す

前の各チャプターの冒頭部分が約 5 秒ずつ再生された後、停止した位置からの通常再生が始まります。

お知らせ

- チャプター1 で停止したときは、あらすじリプレイにならない場合があります。
- あらすじリプレイのできない DVD もあります。

説明文中に出てくるボタンの表示について
本書では、本体とリモコンに同じ働きのボタンがある場合、本体の表示を用いて説明しています。
(本体の [▶] とリモコンの [再生 ▶] など、同じ記号を使っているボタンは同じ働きになります。)

場面や曲を飛び越す（スキップ）

DVD **VCD** **CD**

DVD ビデオのチャプター (⇒ 58 ページ)や、ビデオ CD、音楽 CD のトラック (⇒ 58 ページ) の頭へ飛び、そこから再生します。

再生中に

[|◀◀] または [▶▶|] を押す

|◀◀ ：戻し方向

▶▶| ：送り方向

- 押した回数のチャプター/トラックを飛び越します。
- 戻し方向に 1 回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

お知らせ

- プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中にこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

一時停止（静止）

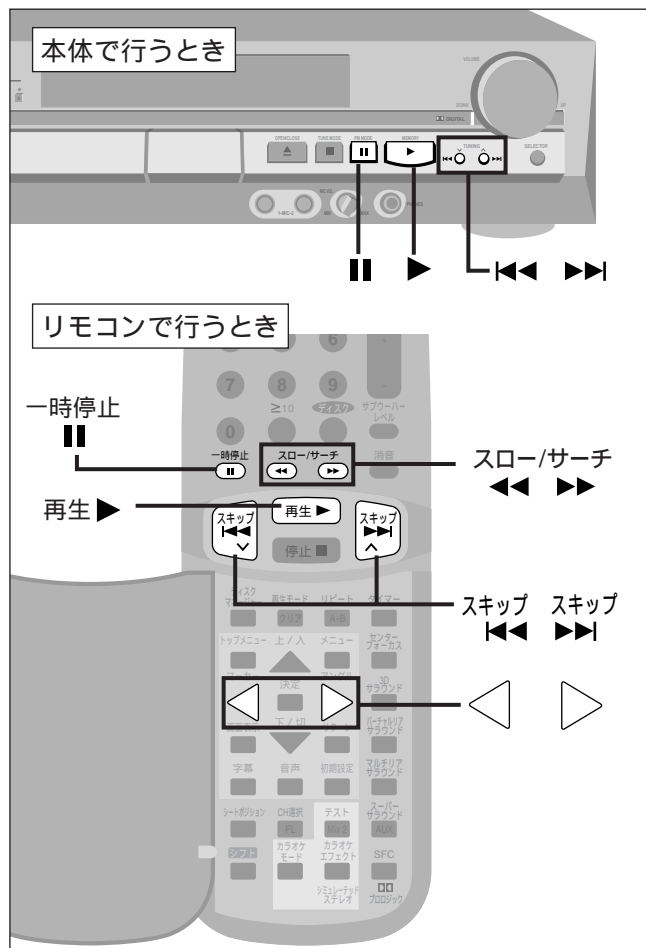
DVD **VCD** **CD**

再生中に

[▮▮] を押す

テレビ画面

DVD/ビデオ CD の場合

スチル

音楽 CD の場合

一時停止

本体表示窓

▮▮ C25

■ 再生に戻すには

[▶] を押す。

スロー再生

DVD **VCD**

一時停止 (静止) 中にリモコンの

スロー／サーチ [◀◀] または [▶▶] を押す

◀◀ ：戻し方向

▶▶ ：送り方向

テレビ画面

● I▶

押すたびに、5 段階まで速くなります。

■ 通常再生に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

- ビデオ CD は戻し方向にスロー再生できません。

コマ戻し／コマ送り

DVD **VCD**

動画を1 コマ (⇒ 58 ページ) ずつ見ることができます。

一時停止 (静止) 中にリモコンの

[◁] または [▷] を押す

◁ ：戻し方向

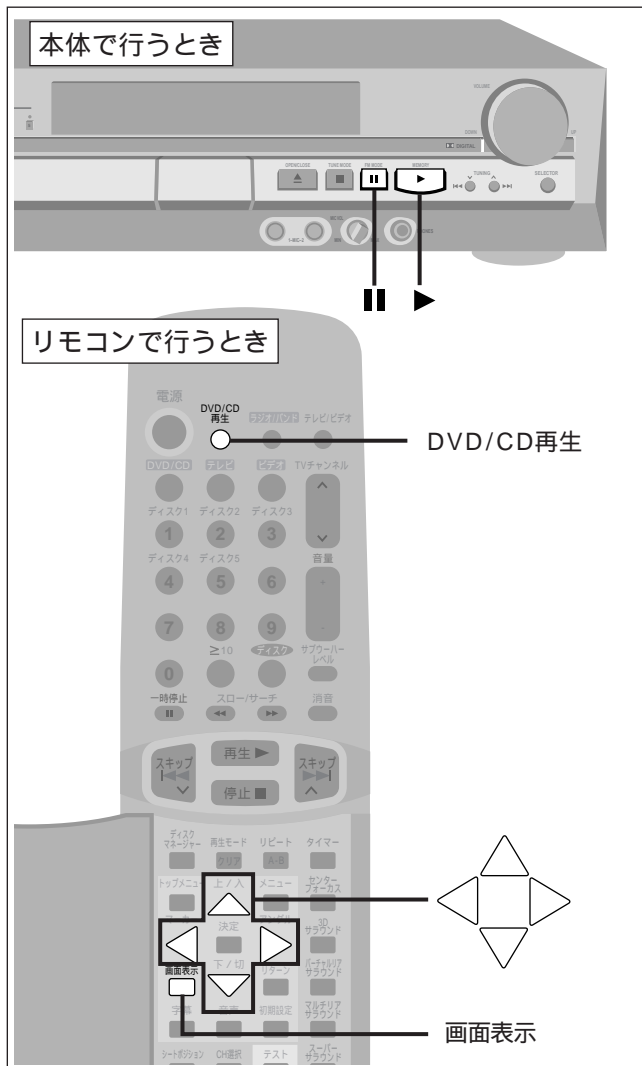
▷ ：送り方向

- 押すたびに、1 コマずつ進みます。
- 押し続けると、連続コマ戻し/コマ送りになります。

■ 通常再生に戻すには

[▶] を押す。

お知らせ

- [▮▮] を押しても、コマ送りできます。
- ビデオ CD はコマ戻しできません。

ワンタッチ再生

DVD VCD CD

ディスクが入っているとき、簡単な操作で再生を始めることができます。

準備：
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ2など）

リモコンの

[DVD/CD再生] を押す

本機の
- 電源が入る。
- 入力切り換えが " DVD/CD " になる。
- ディスクが入っている場合は再生が始まる。

映画に適した画質にする

DVD

ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じを抑え、しっとりとしたやさしい映像を実現します。（シネマポジション）
暗部の輪郭を忠実に再現するので、暗い場面でも見えやすくなります。

リモコンの

1 [画面表示] を2回押す
テレビにGUI画面 (⇒ 31 ページ) が出ます。

テレビ画面

2 [◁] または [▷] を押してシネマポジションの絵表示を選ぶ

3 [△] または [▽] を押して " C " を選ぶ

■ 元の画質に戻すには
手順3で " N " を選ぶ。
■ GUI画面を消すには
表示が消えるまで [画面表示] を押す。

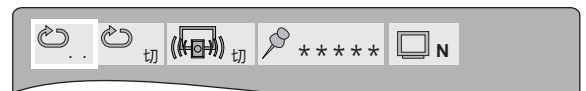
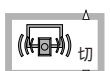
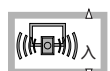
セリフの音量を上げる

DVD

迫力ある効果音のある映画ソフトなどで、セリフを聞き取りやすくします。（シネマボイスモード）
（ドルビーデジタル 3ch 以上で記録され、セリフがセンターチャンネルに入っているDVDで働きます。）

リモコンの

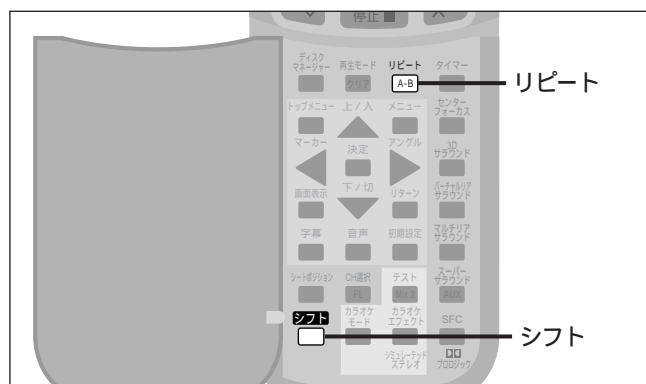
1 [画面表示] を2回押す
テレビにGUI画面 (⇒ 31 ページ) が出ます。

テレビ画面

2 [◁] または [▷] を押してシネマボイスモードの絵表示を選ぶ

3 [△] または [▽] を押して " 入 " を選ぶ

■ 元の画質に戻すには
手順3で " 切 " を選ぶ。
■ GUI画面を消すには
表示が消えるまで [画面表示] を押す。

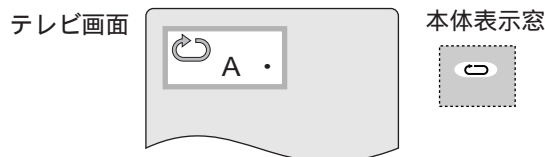
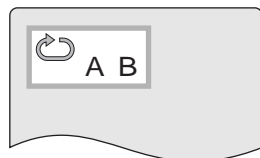
いろいろな再生

繰り返し再生する (リピート)

DVD **VCD** **CD**

DVD ではチャプターまたはタイトルを、ビデオ CD と音楽 CD ではディスク全体を繰り返すことができます。
また、好みの場所を指定して繰り返すこともできます。(A-B リピート)

好みの場所を繰り返す (A-B リピート)

再生中にリモコンの

1 **[シフト] を押しながら**
[リピート] を押して、開始位置を決める

2 **[シフト] を押しながら**
[リピート] を押して、終了位置を決める

■ 通常再生に戻すには
[シフト] を押しながら [リピート] を押す。
(“ ‥ ”が表示されます。)

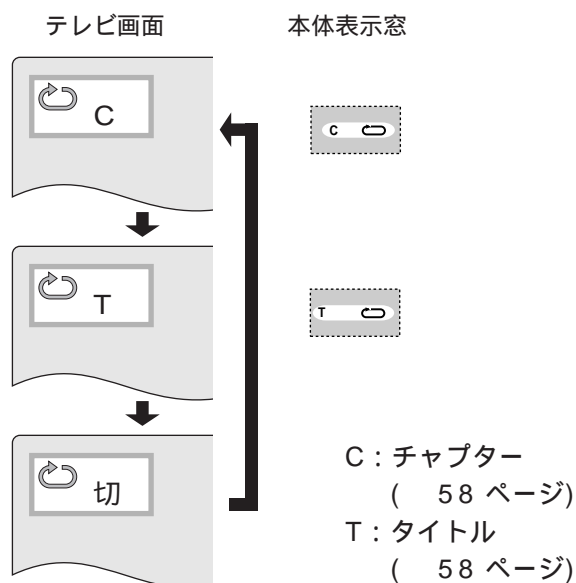
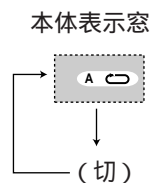
お知らせ
- 時間表示の出ない DVD では使用できません。
- A-B リピート機能は、同一タイトル (DVD) または、同一トラック (ビデオ CD/音楽 CD) 内でのみ可能です。
- A-B リピート時に、AB 間の前後の字幕が表示されないことがあります。
- 停止するとA-B リピートは解除されます。

再生中にリモコンの

[リピート] を押す

押すたびに

DVD の場合

C：チャプター
(⇒ 58 ページ)
T：タイトル
(⇒ 58 ページ)

ビデオ CD/音楽 CD の場合

■ 通常再生に戻すには
“ 切 ”が表示されるまで、または“ ”表示が消えるまで [リピート] を押す。

■ ビデオCD/音楽CDで好みの一曲（トラック）だけを繰り返すには
(ディスクマネージャー ⇒ 30 ページ)

お知らせ
- リピート機能が働かない DVD もあります。
- リピート機能は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。

好みの位置を記憶させる (マーカー)

DVD VCD CD

再び見たい (聞きたい) 位置にマークをつけておくと、いつでもそこから再生できます。マークは 5 つまでつけられます。

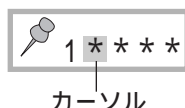
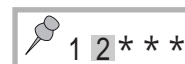
マークをつけるには

再生中にリモコンの

❶ [シフト] を押しながら [マーカー] を押す

テレビ画面にマーカー表示が出ます。

❷ [決定] を押す

2ヶ所以上マークをつけるときは
1. [▷] を押してカーソルを移動させる。

2. [決定] を押す。

マークをつけた位置から再生するには

リモコンの

① [シフト] を押しながら [マーカー] を押す

テレビ画面にマーカー表示が出ます。

② [◁] または [▷] を押して マーク番号を選ぶ

③ [△] を押す

マークの位置から再生が始まります。

■ マーク番号を取り消すには

マーカー表示中に

[◁] または [▷] を押して番号を選び、[シフト] を押しながら[クリア] を押す。

■ マーカー表示を消すには

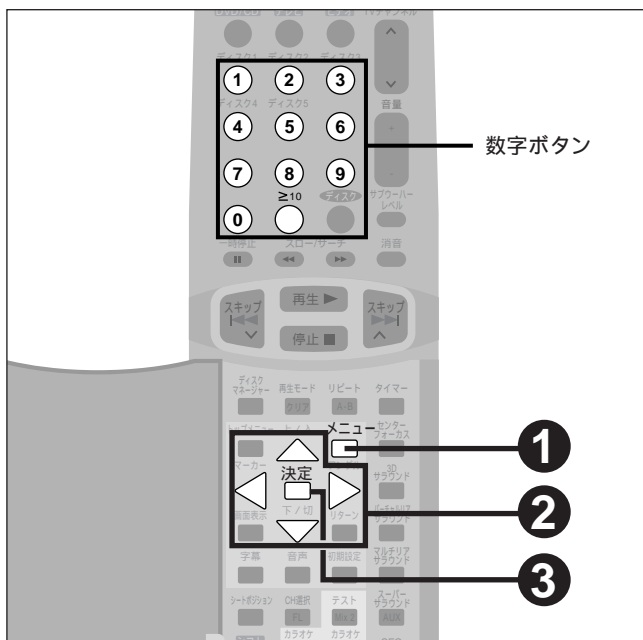
[シフト] を押しながら [マーカー] を押す。

お知らせ

- マーカー機能は選択中のディスクでのみ働きます。
- マークをつけた場所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- 時間表示の出ないディスクでは使用できません。
- マークをつけられない DVD もあります。また、プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
- 電源を切ったり、トレイを開けたり、ディスクをチェンジしたり、入力を切り換えるとマーク番号は解除されます。

メニューを使う

DVD

多くの DVD では、映画のシーンなどを選択できるメニュー画面を設けています。また、メニュー選択で再生するのが基本の DVD もあります。
メニューの選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

停止中または再生中にリモコンの

❶ [メニュー] を押して
メニュー画面を出す

テレビ画面 (例)

1.音声メニュー
2.字幕メニュー
3.アングルメニュー

❷ [◁] [▷] [△] または [▽] を押して
メニューを選ぶ

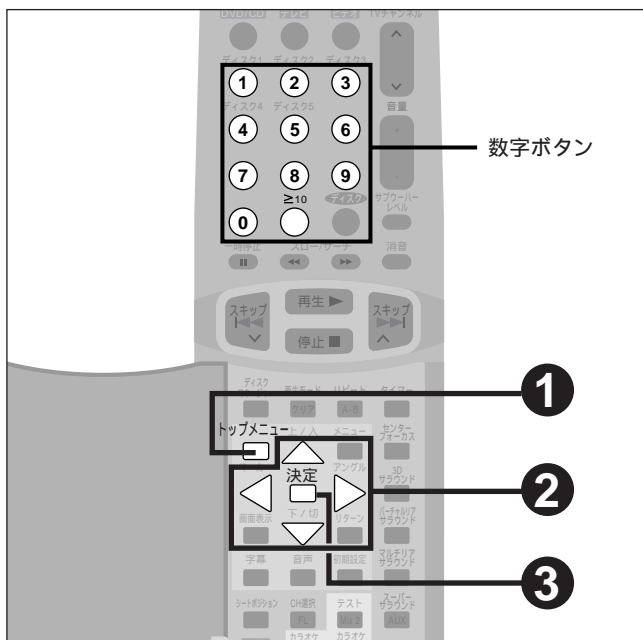
❸ [決定] を押す

お知らせ

- ディスクによっては、数字ボタン [1]～[0]、[≥10]で選べるものもあります。

トップメニューを使う

DVD

複数タイトルを持つ DVD では、トップメニューからタイトルを選択して再生することができます。
トップメニューの選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

停止中または再生中にリモコンの

❶ [トップメニュー] を押して
メニュー画面を出す

テレビ画面 (例)

演歌	ジャズ
ロック	ポップス
カラオケ	練習

❷ [◁] [▷] [△] または [▽] を押して
タイトルを選ぶ

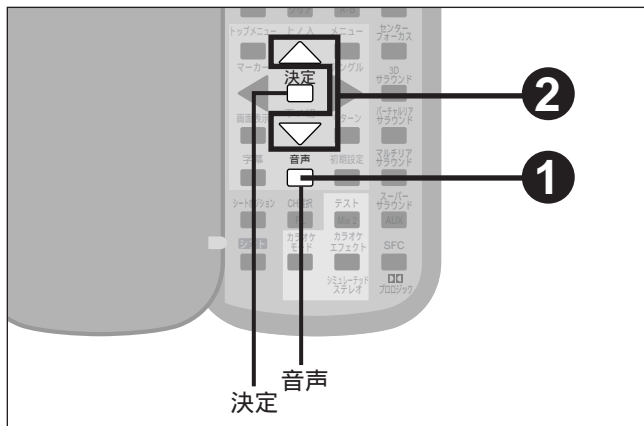
❸ [決定] を押す

お知らせ

- ディスクによっては、数字ボタン [1]～[0]、[≥10]で選べるものもあります。

音声を選ぶ

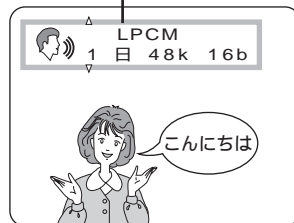
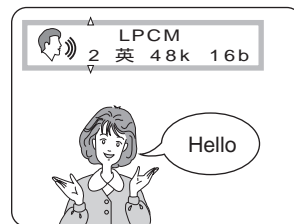
DVD

DVD では、セリフの声が複数の言語で収録されていたり、別の音声方式 (ドルビーデジタルと PCM など) が収録されている場合があります。これを再生中に切り換えることができます。

お知らせ

- 希望の音声にならない場合は、ディスクにその音声が収録されていません。
- 始めから好みの言語で聞きたい場合は、初期設定画面で音声言語の設定 (⇒ 48 ページ) を行ってください。(電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。)
- ディスクによっては、再生中に [音声] では変更ができないものもあります。その場合は、[メニュー] あるいは [トップメニュー] を押して、メニュー画面を表示させ、その中で音声言語の設定を行ってください。(⇒ 25 ページ)

再生中にリモコンの

❶ [音声] を押して
音声表示を出す

テレビ画面 (例)

❷ [△] または [▽] を押して
音声を選ぶ

[音声] を押しても切り換えることができます。

■ 表示を消すには

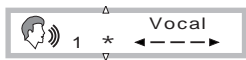
「決定」を押す。

カラオケディスクのときは以下のような切り換えができます DVD

DVD カラオケディスクでは、ボーカルの入／切が行えます。

1. [音声] を押して音声表示を出す。

   テレビ画面

   Vocal
   1 ＊ ◂———▸

2. 好みのモードを選ぶ

DVD カラオケディスク (ソロ) のとき

[◁] または [▷] を押して選ぶ。

「---」：ボーカル切

「入」：ボーカル入

DVD カラオケディスク (デュエット) のとき

[◁] または [▷] を押して選ぶ。

「---」：ボーカル切

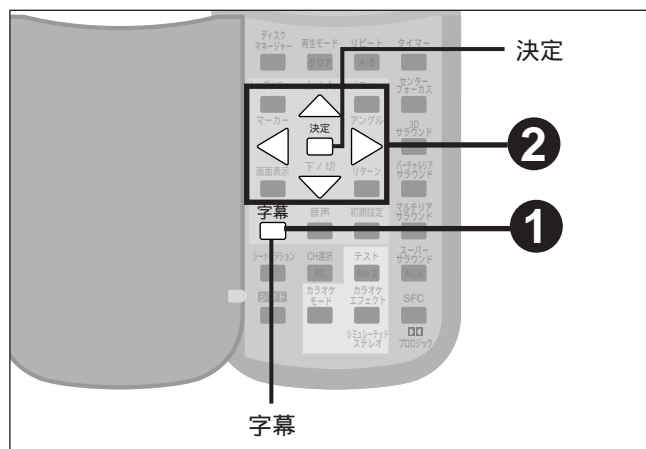
「1+2 」：ボーカル入

「V1」：ボーカル 1 のみ入

「V2」：ボーカル 2 のみ入

字幕言語を選ぶ

DVD

複数の字幕言語が収録されている DVD では、再生中に好みの言語を選ぶことができます。

お知らせ

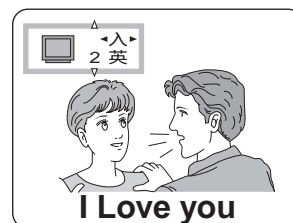
- 希望の言語にならない場合は、ディスクにその言語が収録されていません。
- 始めから好みの言語で見たい場合は、初期設定画面で字幕言語の設定 (⇒ 48 ページ) を行ってください。(電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。)

再生中にリモコンの

テレビ画面 (例)

1 [字幕] を押して字幕言語表示を出す

2 字幕言語を選ぶには [△] または [▽] を押す

[字幕] を押しても選べます。

字幕を入／切するには [◁] または [▷] を押す

お知らせ

- 選んだ言語が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

■ 表示を消すには

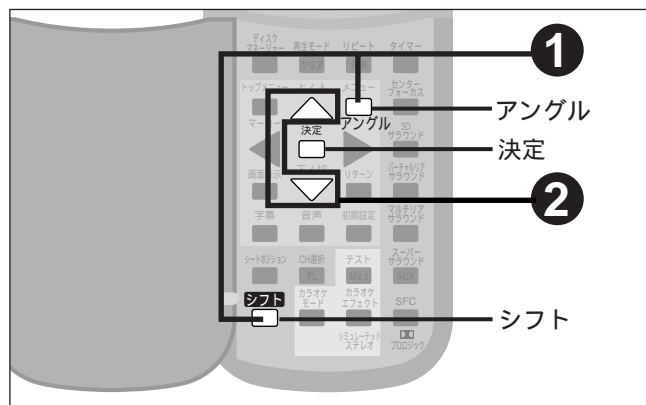
「決定」を押す。

アングルを選ぶ (マルチアングル)

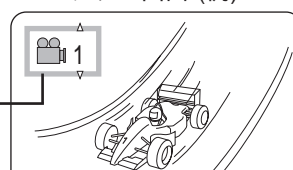
DVD

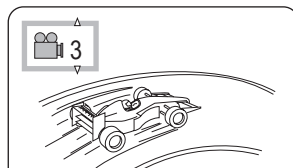
マルチアングルが収録されている DVD では、1 つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

お知らせ

- ディスクにマルチアングルが記録されていないと働きません。

再生中にリモコンの

テレビ画面 (例)

1 [シフト] を押しながら [アングル] を押してアングル表示を出す

2 [△] または [▽] を押してアングルを選ぶ

[シフト] を押しながら [アングル] を押しても選べます。

お知らせ

- 再生中、マルチアングルがある場所では、本機の表示窓に“ ANGLE ”表示がでます。

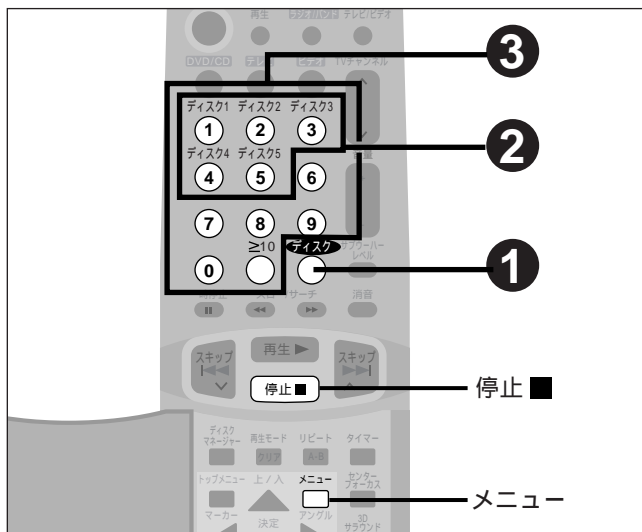
本体表示窓

ANGLE

■ 表示を消すには

「決定」を押す。

好みのトラックから再生する

VCD　CD

お知らせ

- プレイバックコントロール付きビデオ CD の場合、[停止 ■] を押して、プレイバックコントロールを解除しないと好みのトラックが選べないことがあります。メニュー画面に戻す場合は [停止 ■] を押してから、[メニュー] を押してください。
- プレイバックコントロール付きビデオ CD では働かないものもあります。

リモコンの

本体表示窓

❶ **[ディスク] を押す**

❷ **数字ボタン ([1] ～ [5]) を押して ディスクを選ぶ**

DISC 2
↓
2 CHANGE

ディスクが入れ替わり、再生が始まるまでしばらくお待ちください。

❸ **数字ボタンを押して トラックを選ぶ**

CD 3

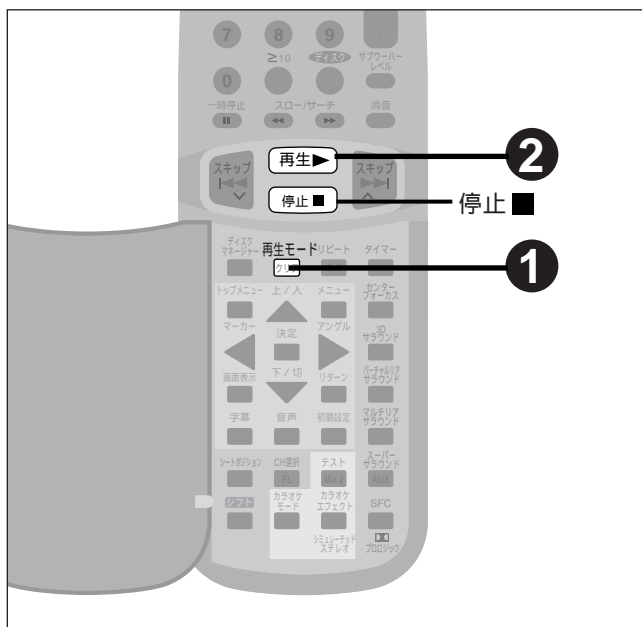
■ 10以上のトラック選びかた（例）

トラック番号 10：[≥10]→[1]→[0]

トラック番号 25：[≥10]→[2]→[5]

順不同に再生する (ランダム)

VCD　CD

1 枚のディスク内、または入っているディスク内の全トラックを、順不同に 1 度ずつ再生します。

1枚のディスクだけをランダム再生するときは、ディスクを選び (上記手順 ❶、❷ 参照)、停止状態にしておいてください。

停止中にリモコンの

❶ **[再生モード] を押して モード**（“ RANDOM ” または “ RANDOM ALL DISC ”）**を選ぶ**

本体表示窓

RANDOM　ALL DISC

押すたびに

→ RANDOM：1枚のディスクを順不同に再生
↓
RANDOM　ALL DISC：5枚のディスクを順不同に再生
↓
PRGM：（プログラムモード ⇒ 29ページ）
↓
（切）：通常再生

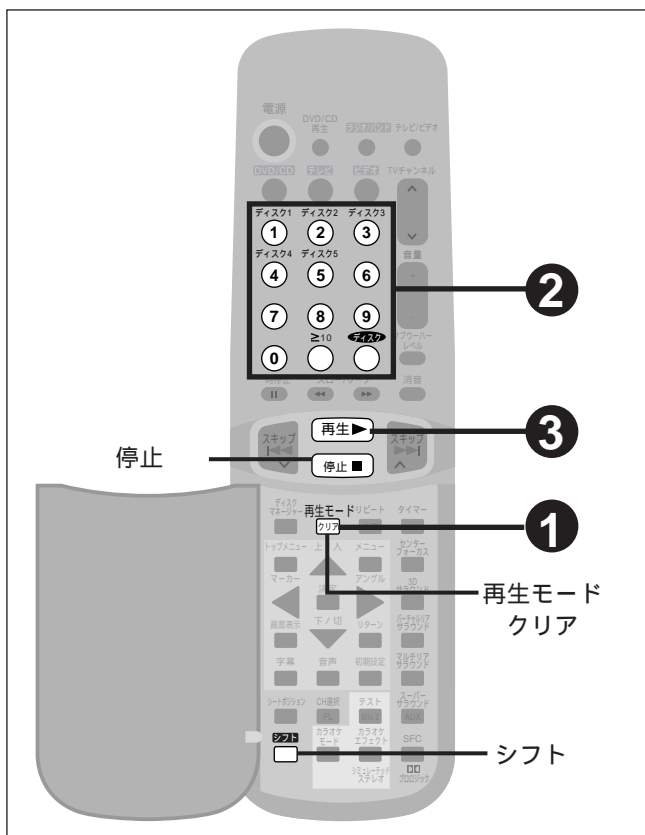
❷ **[再生 ▶] を押す**

■ 解除するには

[■] を押す。再生も停止します。

好みの順に再生する (プログラム)

VCD CD

最大 24 トラックまで好みの順に再生します。

■ **最後に予約したトラック番号を取り消すには**

[シフト] を押しながら、[クリア] を押す。

■ **予約をすべて取り消すには**

停止させた後、[■] を押して " PRGM " 表示を消す。
" CLEAR " が表示されます。
" CLEAR " が出ないときは予約内容が取り消されていません。このときは一度再生した後、停止させてから [■] を押してください。

■ **予約したトラックを順不同に再生するには**

予約した後、[再生モード] を押して " PRGM " と " RANDOM " を表示させる。

お知らせ

- 電源を切ったり、トレイを開けたり、ディスクをチェンジしたり、入力を切り換えると、通常再生に戻ります。(ただし予約内容は保持されています。)

停止中にリモコンの

1 [再生モード] を押して " PRGM " を選ぶ

本体表示窓

押すたびに
ランダム (RANDOM) → ランダム 5枚ディスク (RANDOM ALL DISC) → プログラム (PRGM) → (切) → ランダム

2 ① **[ディスク] を押してから [ディスク1]～[ディスク5] を押して ディスク番号を選び**

② **数字ボタンを押して トラックを選ぶ**

この操作を繰り返して最大 24 トラックまで予約してください。
同じディスクのトラックを続けて選ぶときは、① の操作は不要です。

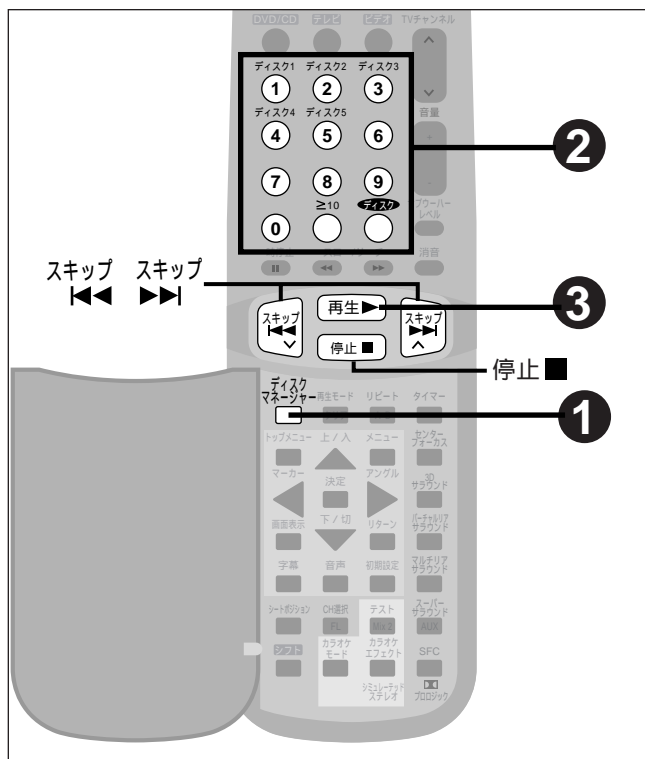
3 [再生 ▶] を押す

■ **通常再生に戻すには**

停止させた後、" PRGM " 表示が消えるまで [再生モード] を押して (切) の状態にする。(予約内容は保持されています。)
もう一度 [再生モード] を押して " PRGM " 表示にすると、前に予約した内容でプログラム再生できます。

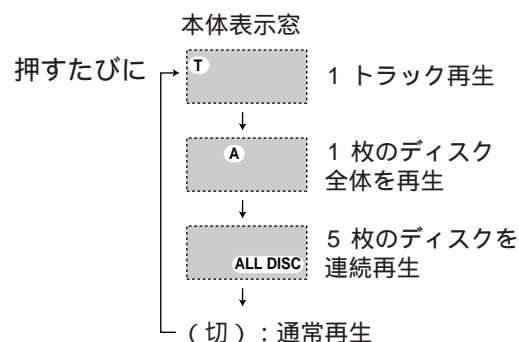
ディスクマネージャーを使う

VCD CD

1 曲（トラック）だけ、1 枚のディスクだけ、5 枚のディスクを連続してなど、いろいろな再生ができます。

お知らせ

- "RANDOM"、"PRGM"点灯中は使用できません。
- "A"または"ALL DISC"モードでプレイバックコントロール付ビデオ CD を再生すると、メニュー画面の操作をしなくても、ディスクをひととおり再生できます。
- 途中のDVDディスクは、飛び越して再生します。

停止中にリモコンの

❶ [ディスクマネージャー] を押して モードを選ぶ

❷ 再生するディスク、トラックを選ぶ

ディスクを選ぶとき

[ディスク] を押してから [ディスク1]～[ディスク5] を押して、ディスク番号を選ぶ

トラックを選ぶとき

数字ボタンを押して、トラックを選ぶ

[|◀◀] または [▶▶|] を押してもトラックを選ぶことができます。

❸ [再生▶] を押す

■ ディスクマネージャーを解除するには

[停止■] を押す。

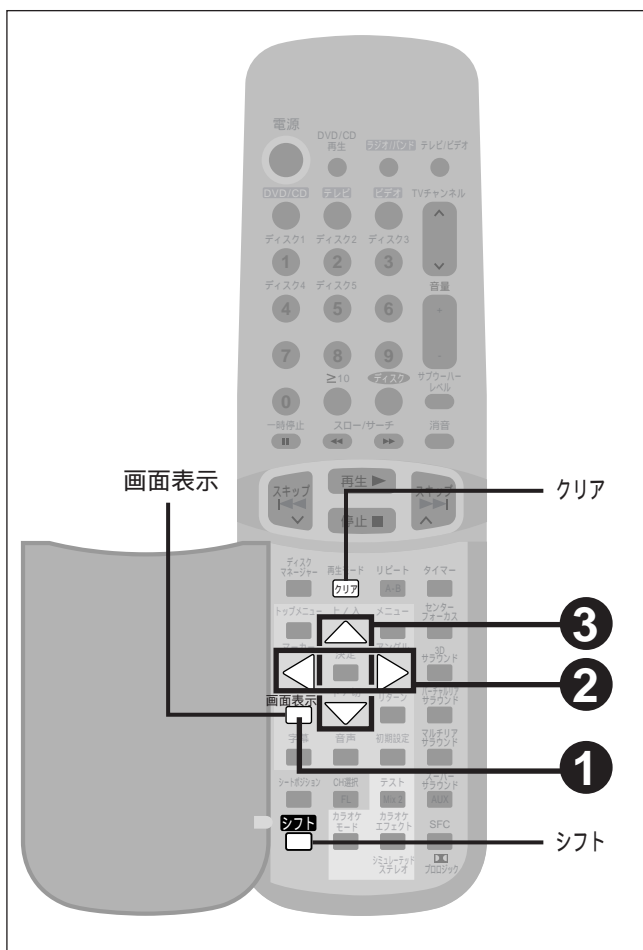
■ 好みの1曲（トラック）だけ、1枚だけを繰り返すには

ディスクマネージャーの再生中に [リピート] を押す。

絵表示を使って操作する (GUI)

GUI 画面を使うには (基本操作)

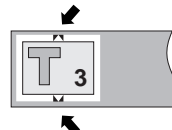
DVD

GUI (Graphical User Interface) とは、「絵表示などを使って操作する画面」のことを意味します。
本機の場合は、ディスク情報や本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI 画面」と呼び、各種情報が一目で確認できるとともに、変更も簡単に行えます。

リモコンの

1 [画面表示] を押して
テレビにGUI 画面を出す

押すたびに下のようにGUI画面が切り換わります。

2 [◁] または [▷] を押して
絵表示 (項目) を選ぶ

このしるしのついた項目が変更できます。

3 [△] または [▽] を押して
変更する

■ GUI 画面を消すには

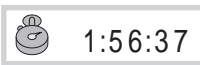
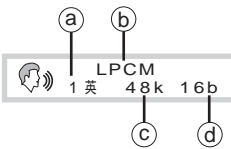
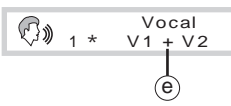
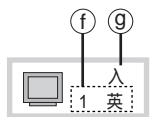
GUI 画面が消えるまで [画面表示] を押す。
または [シフト] を押しながら[クリア] を押す。

お知らせ

- 操作できる絵表示はディスクや、ディスクの動作状態 (再生中やメニュー表示中、停止中など) によって異なります。
- 変更操作については、一部異なるものがありますので、“ 各絵表示の使いかた ” (⇒ 32、33 ページ) を参照してください。
- タイトルやチャプターなど、変更操作後に GUI 画面の消えるものもあります。
- GUI 画面の一部が欠けたり、表示されなかったりするときは、初期設定画面でオンスクリーンの変更をしてください。(⇒ 48 ページ)

GUI 画面には次の 3 つがあります。

ディスク情報画面：タイトルやチャプターを選んだり、時間表示/音声/字幕/アングルなどの切り換えができます。

本機の情報画面：好みの位置をマークしたり、好きな場所を繰り返したりできます。

シャトル画面：早戻し/早送りや、スロー再生、一時停止 (静止) ができます。

各絵表示の使いかた

DVD VCD CD

ディスク情報画面

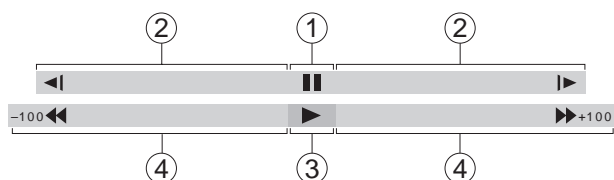
絵表示	内容	変更方法
T 1	タイトル番号 (DVD) を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押して [決定]
C 1	チャプター番号を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押して [決定]
1:56:37	経過時間を表わします。	数字ボタンを押して [決定]
ⓐ ⓑ LPCM 1 英 48k 16b ⓒ ⓓ	ⓐ 音声の番号を表わします。 言語の略称は下の表のとおりです。	[△] [▽] または数字ボタンを押して [決定]
	ⓑ 信号のタイプを表わします。 LPCM (リニア PCM)、DD (ドルビーデジタル) または dts ⓒ サンプリングレートまたはチャンネル数を表わします。 ディスクが LPCM なら：48 kHz または 96 kHz ディスクが DD なら：1 ch～5.1 ch ディスクが dts なら ：1 ch～5.1 ch ⓓ ビット数を表わします。 ディスクが LPCM のみ：16～24 bit	–
Vocal 1 ＊ V1 + V2 ⓔ	ⓔ ボーカルの「入」「切」を表わします。 ディスクがソロなら：--- または 入 ディスクがデュエットなら：--- 、V1+V2、V1 または V2	**DVD カラオケのみ** [△] [▽] を押す
ⓕ ⓖ 入 1 英	ⓕ 字幕の番号を表わします。 言語の略称は下の表のとおりです。	[△] [▽] または数字ボタンを押す
	ⓖ 字幕表示の「入」「切」を表わします。	[△] [▽] を押す
1	アングル番号を表わします。	[△] [▽] または数字ボタンを押す

選択数字が表示される項目は、数字ボタンでも選べます。

言語の略称								
	日	日本語	独	ドイツ語	蘭	オランダ語	韓	韓国語
	英	英語	伊	イタリア語	中	中国語	＊	その他
	仏	フランス語	西	スペイン語	露	ロシア語		

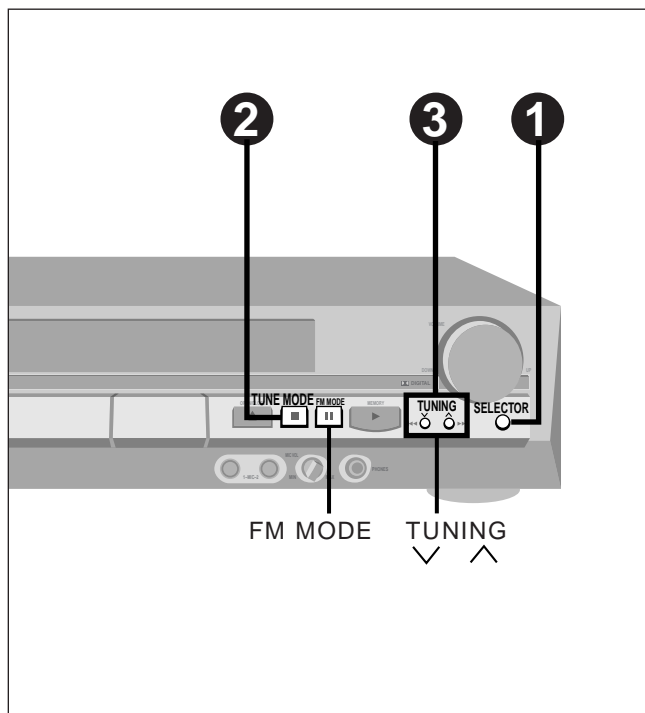
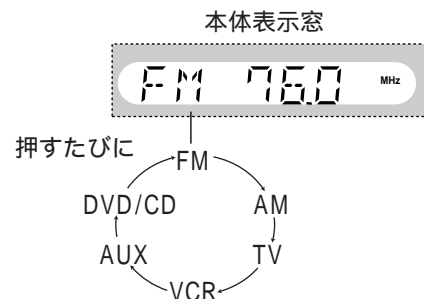
本機の情報画面

表示	内容	変更方法
. .	A-B リピート再生を開始、解除します。	[決定] を押して開始点、終点を選ぶ。または解除する。
切	リピート再生のモードを選びます。 C チャプター　T タイトル	[△] または [▽] を押す。
切	シネマボイスモードの入／切を表します。 切：通常の音声 入：セリフ（センターチャンネル）の音量が上がり、聞き取りやすくなります。（ドルビーデジタル 3ch 以上）	[△] または [▽] を押す。
*****	マークを付ける。	[決定] を押す。
	マークを呼び出す。	[◁] または [▷] を押して、[△] を押す。
	マークを消す。	[◁] または [▷] を押して、[シフト] を押しながら、[クリア] を押す。
N	シネマポジションの入／切を表します。 N：通常の画質 C：映画に適した画質（シネマポジション）	[△] または [▽] を押す。

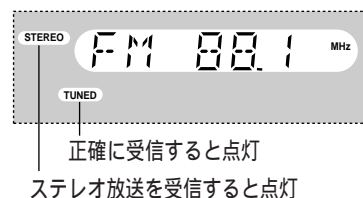
シャトル画面

各方向 5 段階まで選べます。

絵表示	変更方法
① 一時停止	[△] を押す。
② スロー再生　◀：戻し方向 ▶：送り方向	[△] を押して、[◁] または [▷] を押す。
③ 再生	―
④ 早戻し/早送り　◀◀：戻し方向 ▶▶：送り方向 －100〜+100	[△] を押して、[◁] または [▷] を押す。

ラジオを聞く

本体の

❶ **[SELECTOR] を押して“ FM ” または “ AM ” を選ぶ**

❷ **[TUNE MODE] を押して“ MANUAL ” を選ぶ**

MANUAL

❸ **TUNING [∨] または [∧] を押して放送局を選ぶ**

■ 自動選局するには

[TUNING] を押したままにして、周波数表示が動き始めたら指を離す。
最初に受信した放送局で自動停止します。

お知らせ

- 周囲に電波妨害があると、放送局を受信せずに停止することがあります。

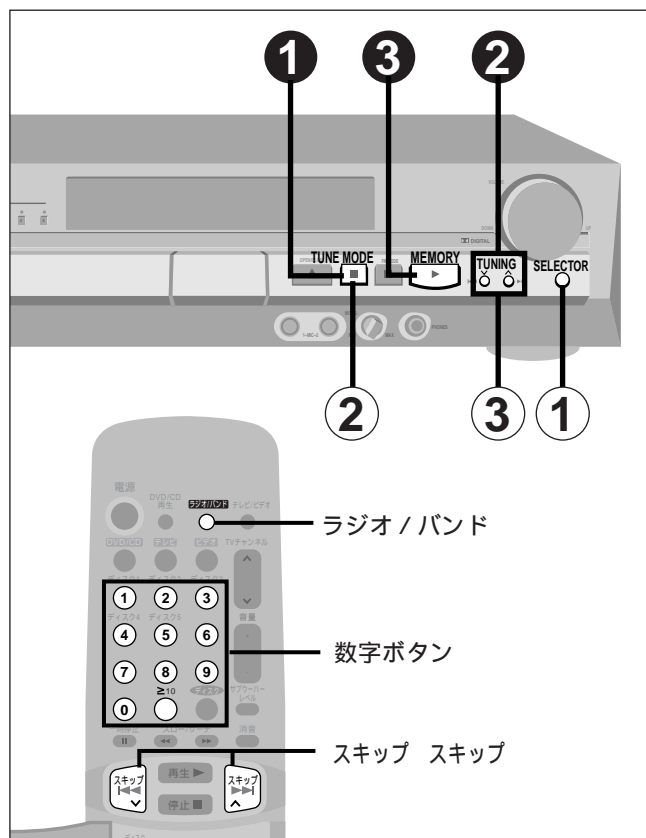
■ FM 放送で雑音が多いときは

[FM MODE] を押す。

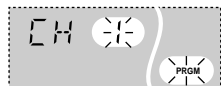
- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は“ MONO ” を消灯させておいてください。(再度 [FM MODE] を押します。)

- AM の音声はモノラルになります。
- 受信状態が悪いときは屋外アンテナの利用をお勧めします。(⇒ 45 ページ)

放送局を記憶させて聞く

チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
FM、AM とも12 局ずつ記憶できます。

■ 1 局ずつ記憶させるには

1. [MEMORY] を押す。
2. TUNING [∨] または [∧] を押して放送局を選ぶ。
3. [MEMORY] を押す。

CH 1 PRGM

4. TUNING [∨] または [∧] を押して、記憶させるチャンネルを選ぶ。

CH 2 PRGM

5. [MEMORY] を押す。

さらに記憶させるには以上の操作を繰り返してください。

■ 記憶させた放送局をリモコンで選ぶには

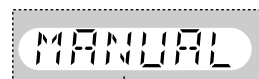
1. [ラジオ／バンド] を押して、FM または AM を選ぶ。
2. 数字ボタンでチャンネルを選ぶ。
   10以上のとき (例)
   チャンネル 10：[≥10]→[1]→[0]
   チャンネル 12：[≥10]→[1]→[2]
   または、スキップ [∨]、[∧] を押して選ぶ。

記憶させるには

準備
本体の [SELECTOR] または、リモコンの [ラジオ/バンド] で FM または AM を選んでください。

本体の

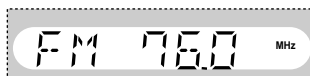
❶ [TUNE MODE] を押して “ MANUAL ” を選ぶ

本体表示窓

MANUAL

押すたびに
MANUAL←→PRESET

❷ TUNING [∨] または [∧] を押して 一番低い周波数を選ぶ

FM：76.0 MHz
AM：522 kHz

FM 76.0 MHz

❸ [MEMORY] を押したままにして 周波数表示が動き始めたら指を離す

記憶している間は “ PRGM ” が点滅します。
終了すると、最後に記憶した放送局で受信状態になります。

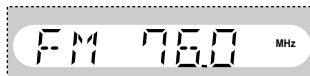
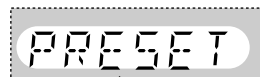
お知らせ

- 記憶した放送局は電源コードを抜いても、約 2 週間保持されます。

記憶させた放送局を聞くには

本体の

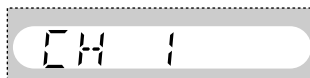
① [SELECTOR] を押して “ FM ” または “ AM ” を選ぶ

FM 76.0 MHz

② [TUNE MODE] を押して “ PRESET ” を選ぶ

PRESET

押すたびに
PRESET←→ MANUAL

③ TUNING [∨] または [∧] を押して チャンネルを選ぶ

CH 1

↓

音場効果を使う

本機で使える音場効果について

種類	特徴	利用できるソース
ドルビー デジタル **Dolby Digital**	ディスクリート 6 (5.1) チャンネル方式を用いた映画館用デジタルサラウンドシステムの 1 つです。 本機では、DVD ソフトに Dolby Digital の信号が入っている場合は自動で判定します。	DOLBY DIGITAL 上記のマークのついた ● DVD
ドルビー プロ ロジック **Dolby Pro Logic**	Dolby Pro Logic は、Dolby Surround のソースによりリアルな音場を形成するため開発されたデコードシステムです。 センタースピーカーチャンネルを独立させることで、特に定位感を向上させています。	DOLBY SURROUND 上記のマークのついた ● DVD ● ビデオテープ ● CD
スーパー サラウンド **SUPER SURROUND** ムービー **MOVIE**	上記のようなシステムで記録されていない映画ソフトにサラウンド効果を付加します。	ステレオ録音されていればどのソースでも可能。 ただし、ラジオは不可。
スーパー サラウンド **SUPER SURROUND** ミュージック **MUSIC**	ステレオ録音された音楽ソースにサラウンド効果を付加します。	
シミュレーテッド ステレオ **SIMULATED STEREO**	モノラル録音されたソースにステレオ録音されているかのような効果を付加します。	モノラル録音されていればどのソースでも可能。 ただし、ラジオは不可。
SFC サウンド フィールド コントロール **(Sound Field Control)**	再生音の音質を変えたり、残響を与えたりします。	どのソースでも可能。

使用できる拡張機能

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド）
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド）
Ⓒ Center focus（センター フォーカス）
Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド）
Ⓔ Seat position（シート ポジション）

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド）
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド）
Ⓒ Center focus（センター フォーカス）
Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド）
Ⓔ Seat position（シート ポジション）

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド）
Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド）
Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド）
Ⓔ Seat position（シート ポジション）

なし

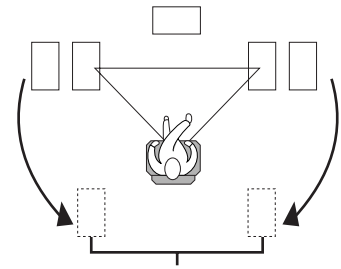
なし

なし

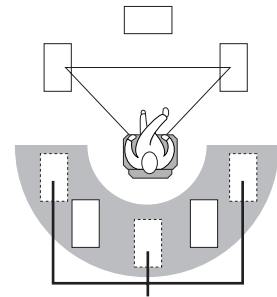
拡張機能

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド）

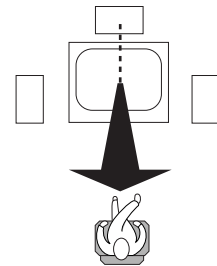
(⇒ 40 ページ)

- サラウンドスピーカーをフロントスピーカーに並べて設置している場合に使用します。
- サラウンドスピーカーの音声があたかも後から聞こえてくるような効果※があります。

Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド）

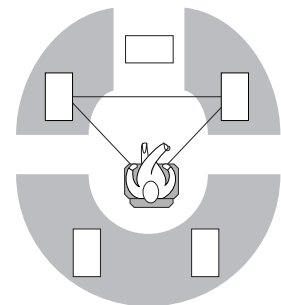
(⇒ 40 ページ)

- いくつものサラウンドスピーカーがあるかのような効果※を作り出し、映画館にいるような雰囲気を出します。

Ⓒ Center focus（センター フォーカス）

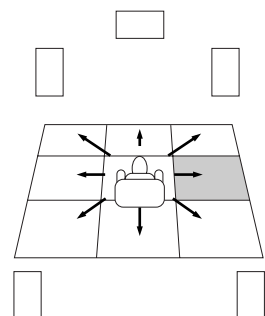
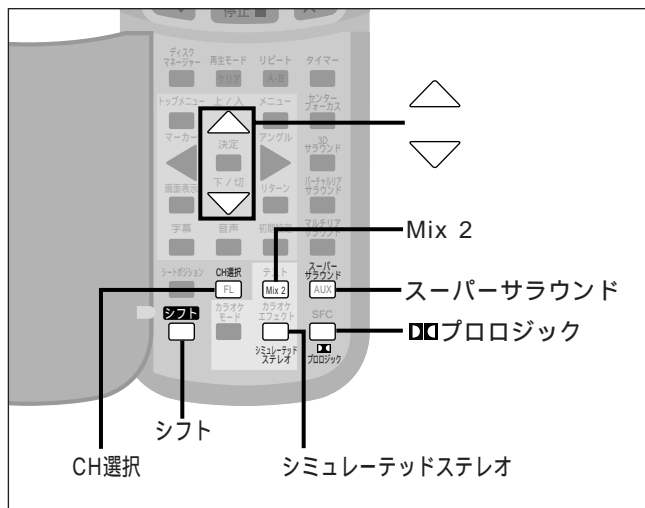
(⇒ 40 ページ)

- テレビの上から出ている音声がテレビの中から聞こえてくるような感じになります。
- センタースピーカーはテレビ近くの上または下に置いてください。

Ⓓ 3D Enhanced surround（エンハンスト サラウンド）

(⇒ 40 ページ)

- フロントスピーカーとサラウンドスピーカーの音声の立体感が増し、上の方からも音が聞こえるような感じになります。

Ⓔ Seat position（シート ポジション）

(⇒ 41 ページ)

- 視聴位置を変えても、音声が元の位置と同じように聞こえます。

音場効果の使いかた

ドルビーデジタルを楽しむ

DVD

(ドルビーデジタルで記録された DVD のみ)
本格的なホームシアターを楽しむことができます。
再生を始めると自動的にドルビーデジタル方式になります。

本体表示窓

DIGITAL

お知らせ

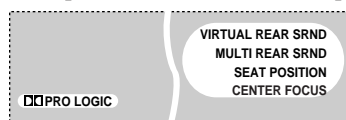
- 複数の音声方式 (ドルビーデジタルとPCMなど) がある場合は、ドルビーデジタルに切り換えてください。 (⇒ 26 ページ)
- スピーカーの出力レベルを調整することができます。 (⇒ 右ページ)

ドルビープロロジックを楽しむ

(ドルビーサラウンドで記録された DVD、ビデオテープ、CD など)
臨場感のあるサラウンドサウンドを楽しむことができます。

リモコンの

[シフト] を押しながら [プロロジック] を押す

VIRTUAL REAR SRND
MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
CENTER FOCUS
PRO LOGIC

■ **解除するには**
[シフト] を押しながら [プロロジック] を押す。

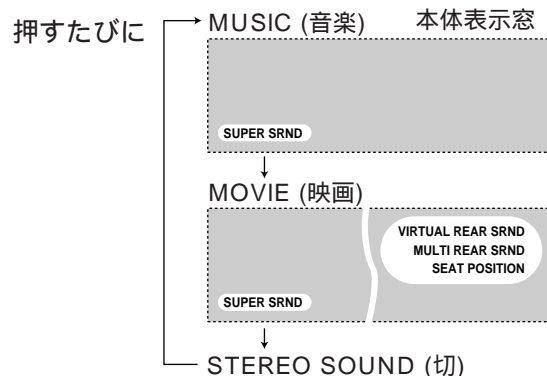
お知らせ

- スピーカーの出力レベルを調整することができます。 (⇒ 右ページ)

スーパーサラウンドを楽しむ

普通のステレオ音声に、サラウンド効果を付けることができます。(ラジオ以外)

リモコンの

[スーパーサラウンド] を押して、モードを選ぶ

■ **解除するには**
[スーパーサラウンド] を押して、STEREO SOUND (切) を選ぶ。

■ **サラウンドスピーカーのレベルを調整するには**
1. [CH 選択] を押す。
2. [△] または [▽] を押してレベルを調整する。
 (−10 dB ～ ＋6 dB 範囲)

シミュレーテッドステレオを楽しむ

モノラル音声をステレオサウンドのようなイメージで聞くことができます。(ラジオ以外)

リモコンの

[シフト]を押しながら
[シミュレーテッドステレオ]
を押す

SIMULATED ST

■ **解除するには**
[シフト] を押しながら [シミュレーテッドステレオ] を押す。

MIX 2ch にする

ドルビーデジタルなどの 5.1 ch の音声を 2 ch に集約してフロントスピーカーから出力します。

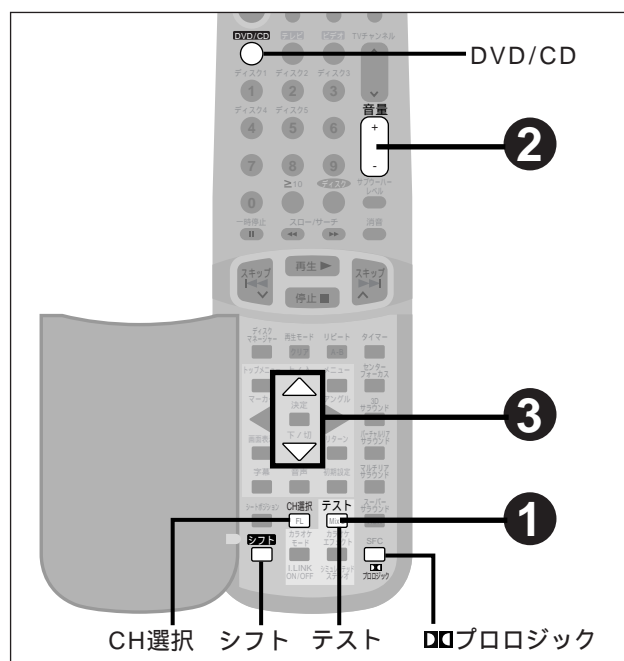
リモコンの

[シフト]を押しながら
[Mix 2] を押す

MIX2ch
DVD
DIGITAL

■ **解除するには**
[シフト] を押しながら [Mix 2] を押す。

■ドルビーデジタル、ドルビープロロジックの調整

実際にソフトを再生してみて、各スピーカーのレベルにばらつきがあると感じるときは、視聴する位置に座った状態で、全てのスピーカーからの出力が同じ音量になるように調整してください。

■ テスト信号を止めるには

[テスト] を押す。

■ 再生中に各スピーカーを個々で調整するには

1. [CH 選択] を押してスピーカーを選ぶ。

ドルビーデジタルのとき　L → C → R ↓ RS → LS → SW ↑（L へ戻る）

SW（サブウーハー）レベルが “ 0 ” のときには選択できません。また、SW（サブウーハー）レベルを “ 4 ” などの高い値に設定した状態でレベルを上げると音が歪むことがあります。(⇒43ページ)

ドルビープロロジックのとき　C → S（C へ戻る）

2. [△] または [▽] を押す。

■ 各スピーカーの調整可変レベルは

L、R：　－16 dB～0 dB
C、RS、LS、S：－10 dB～+6 dB
SW：　－10 dB～+10 dB　です。

準備

ドルビーデジタルの調整を行なうときは

[DVD/CD] を押す。
ドルビープロロジックをオンしているときは解除してください。

ドルビープロロジックの調整を行なうときは

入力をラジオ以外にして、[シフト] を押しながら [DD プロロジック] を押す。

リモコンの

1 [テスト] を押して
テスト信号を出力する

次の順序で出力されます。

ドルビーデジタルのとき

L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
RS：サラウンド右スピーカー
LS：サラウンド左スピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

ドルビープロロジックのとき

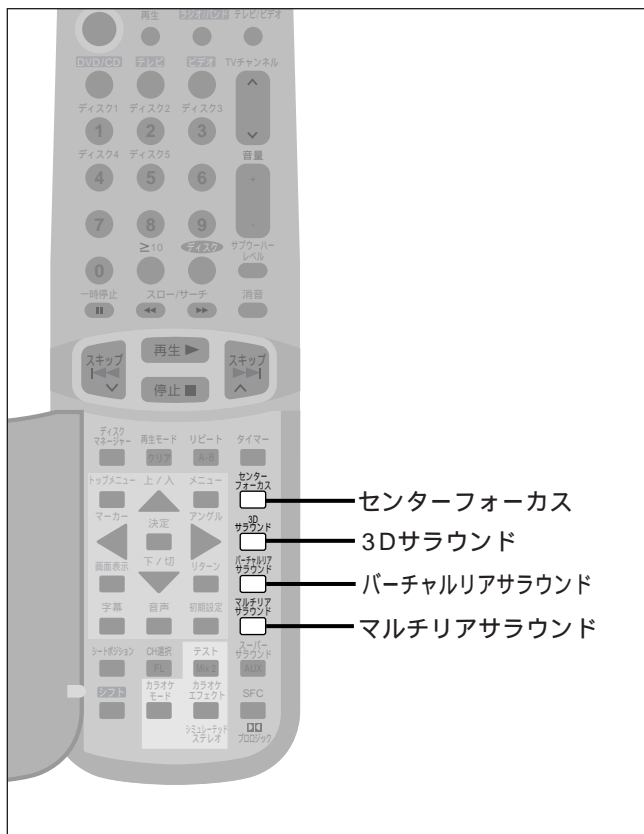
L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
S：サラウンドスピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

2 [音量] を押して
通常聞く音量にする

3 [△] または [▽] を押して
各スピーカーのレベルが同じになるように調整する

ドルビーデジタルは DVD のみで使用できます。また、ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオは入力がラジオのときは使用できません。

ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオはカラオケエフェクトをオンにしたり、ヘッドホンを接続したりすると使用できません。

音場効果の使いかた

バーチャルリアサラウンドを使う

設置場所の都合でサラウンドスピーカーをフロントスピーカーの横に置いている場合に使用してください。
前面に設置したサラウンドスピーカーの音が、後から出ているように聞こえます。

リモコンの

[バーチャルリアサラウンド] を押す

本体表示窓

▶ VIRTUAL REAR SRND
MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
CENTER FOCUS

■ **解除するには**
[バーチャルリアサラウンド] を押して、“ ▶ ” 表示を消す。

マルチリアサラウンドを使う

サラウンドスピーカーの数が増えたように聞こえます。

リモコンの

[マルチリアサラウンド] を押す

本体表示窓

VIRTUAL REAR SRND
▶ MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
CENTER FOCUS

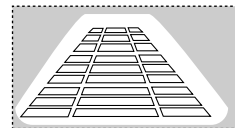
■ **解除するには**
[マルチリアサラウンド] を押して、“ ▶ ” 表示を消す。

3Dエンハンストサラウンドを使う

フロントとサラウンドスピーカーの上の方から音が聞こえてくるような感じになります。

リモコンの

[3Dサラウンド] を押す

“ 3D ENHANCED ” と表示されます。

■ **解除するには**
[3Dサラウンド] を押して、“ ▶ ” 表示を消す。

センターフォーカスを使う

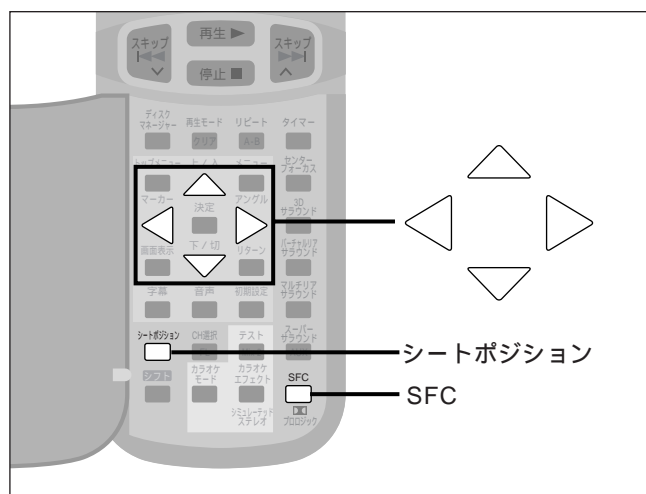
テレビの上に置いたセンタースピーカーの音が、テレビ画面の位置から出ているように聞こえます。

リモコンの

[センターフォーカス] を押す

押すたびに

VIRTUAL REAR SRND
MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
▶ CENTER FOCUS

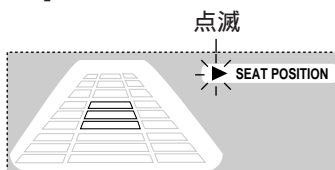
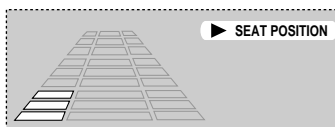
■ **解除するには**
[センターフォーカス] を押して、“ ▶ ” 表示を消す。

シートポジションを使う

室内の配置などによって、理想的な位置（中央）で視聴できない場合は、シートポジションを調整してください。
部屋の中央で聞いているような感じになります。

リモコンの

1. [シートポジション]を押す

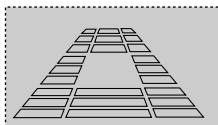
本体表示窓

点滅

2.“ ▶ ”点滅中に、[◁] [▷] [△] または[▽] を押して位置を選ぶ

お知らせ

- バーチャルリアサラウンドおよび3D エンハンストサラウンドのときは、左右方向にだけ調整できます。
- 3D エンハンストサラウンドのときは、本体表示窓の表示が反転します。

3D エンハンストサラウンドのとき

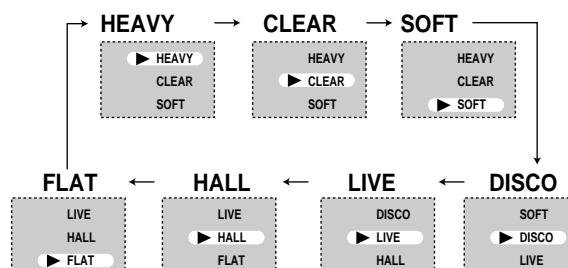
■ **解除するには**

[シートポジション] を押す。

SFC（サウンドフィールドコントロール）を使う

いろいろな効果を楽しむことができます。
どのソースでも行えます。

リモコンの

[SFC] を押す

押すたびに　　本体表示窓

SFC の効果

HEAVY（ヘビー）：ロックなど。パンチを効かせます。
CLEAR（クリア）：ジャズなど。高音部を鮮明にします。
SOFT（ソフト）：BGM など。ソフトな音にします。
DISCO（ディスコ）：ディスコのような長い残響音があります。
LIVE（ライブ）：ボーカルにつやを出します。
HALL（ホール）：大ホールのような音の広がりがあります。
FLAT（フラット）：効果を出す前の状態に戻ります。

■ **解除するには**

[SFC] を押して“ FLAT ”を選ぶ。

使いかた

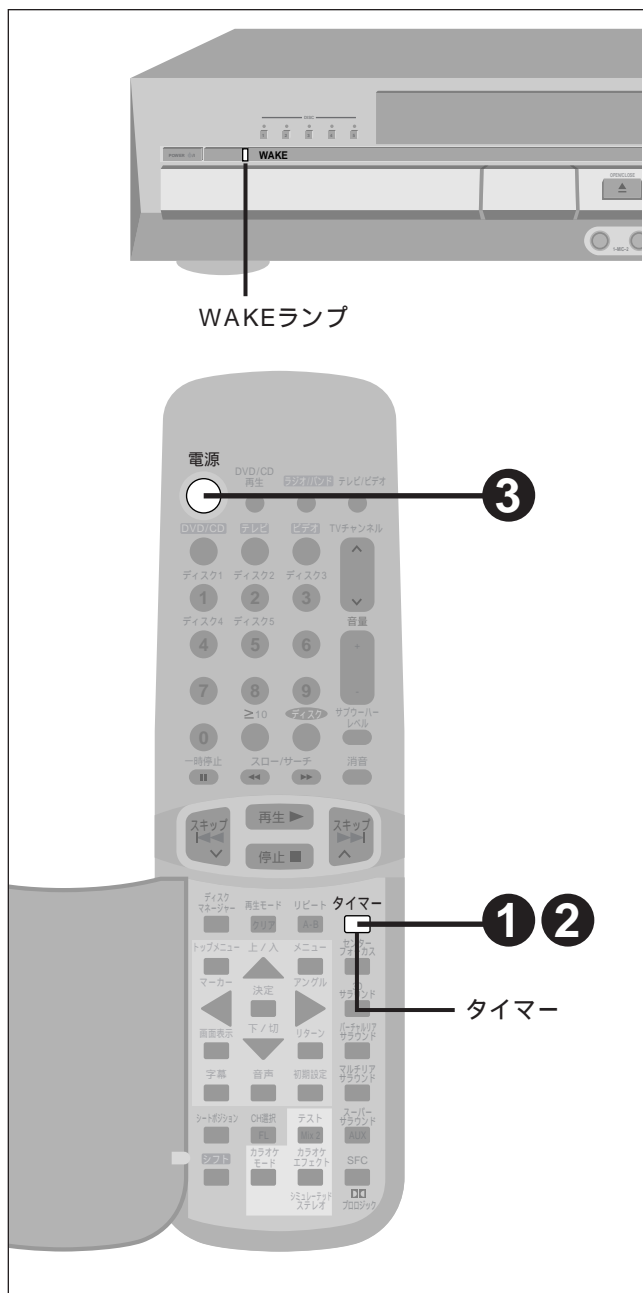
● 音場効果の使いかた

タイマーを使う

スリープタイマー

セットした時間に電源が切れます。30、60、90 分の設定ができます。

ウェイクタイマー

電源を切ってから一定の時間がたつと電源が入ります。 5 、7、9 時間の設定ができます。

リモコンの

❶ [タイマー] を押して
“ SLEEP ” または “ WAKE ” を選ぶ

押すたびに

OFF

❷ 表示点滅中に [タイマー] を長押しして
時間を設定する

長押しするたびに

スリープタイマーでは

30 ⟶ 60 ⟶ 90 (分)

ウェイクタイマーでは

5H ⟶ 7H ⟶ 9H (時間)

❸ <u>ウェイクタイマーのみ</u>
[電源] を押して
電源を切る。

［WAKE］ランプが点灯します。

■ スリープタイマーの残り時間や、ウェイクタイマーの設定時間を調べるには

[タイマー] を押す。

■ 解除するには

[タイマー] を押し、“ OFF ” を選ぶ。

お知らせ

- スリープタイマーとウェイクタイマーは同時に使用できません。

便利な機能

一時的に消音する (ミューティング)

リモコンの

[消音] を押す

本体表示窓

MUTING

■ 解除するには

[消音] を押す。
音量を最小 “ VOL -- ” にしても解除できます。

お知らせ

● 電源を切るとミューティングは解除されます。

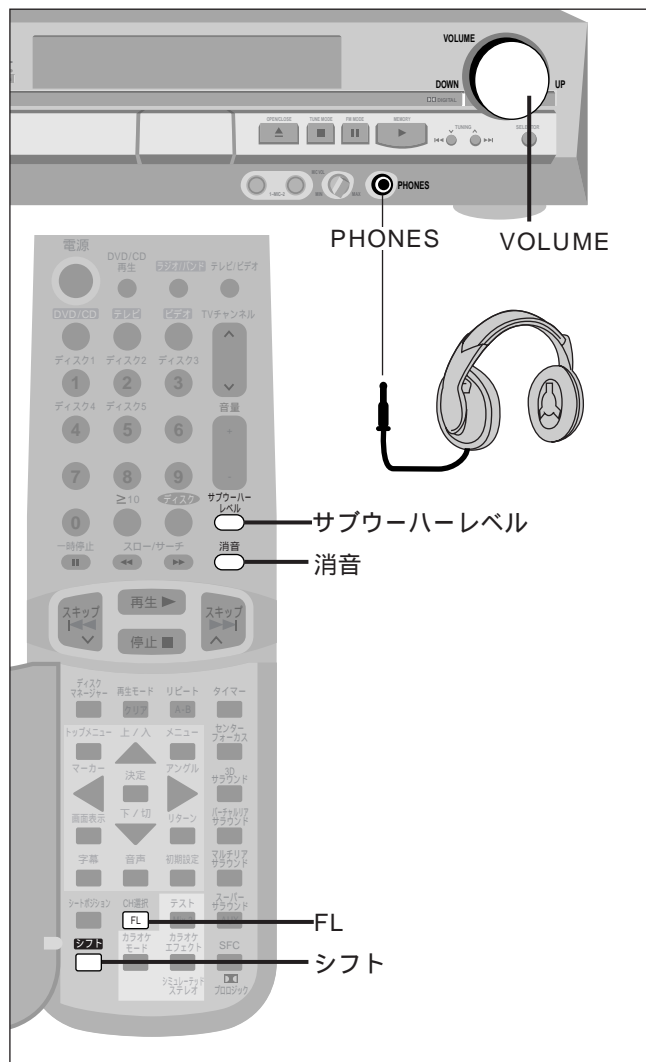
部屋を暗くして映画を楽しむときに

本体の表示窓とディスク表示ランプを消すことができます。

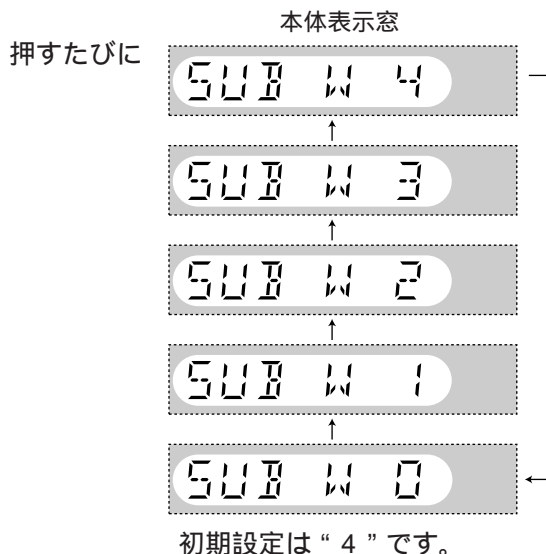
リモコンの

[シフト] を押しながら
[FL] を押す

■ 元に戻すには

[シフト] を押しながら [FL] を押す。

低音を調整する

リモコンの

[サブウーハーレベル] を押す

初期設定は “ 4 ” です。

お知らせ

●“ 0 ” にすると、サブウーハーから音が出なくなります。

お願い

● CH 選択で SW レベルを 10 dB など高い値に設定した状態で、このボタンでレベルを上げると音が歪むことがあります。

ヘッドホンで聞く

1. [VOLUME] を回して音量を下げる
2. PHONES 端子にヘッドホンを接続する
3. [VOLUME] を回して音量を調整する

ヘッドホン
● プラグタイプ：ステレオ大型 (M6)
● 推奨品：PR-HT400、RP-HT242 (共に別売り)

お知らせ

● ヘッドホンを接続すると、音声は強制的にステレオ (2 ch) になります。

お願い

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット シンボルマーク

外部機器の接続

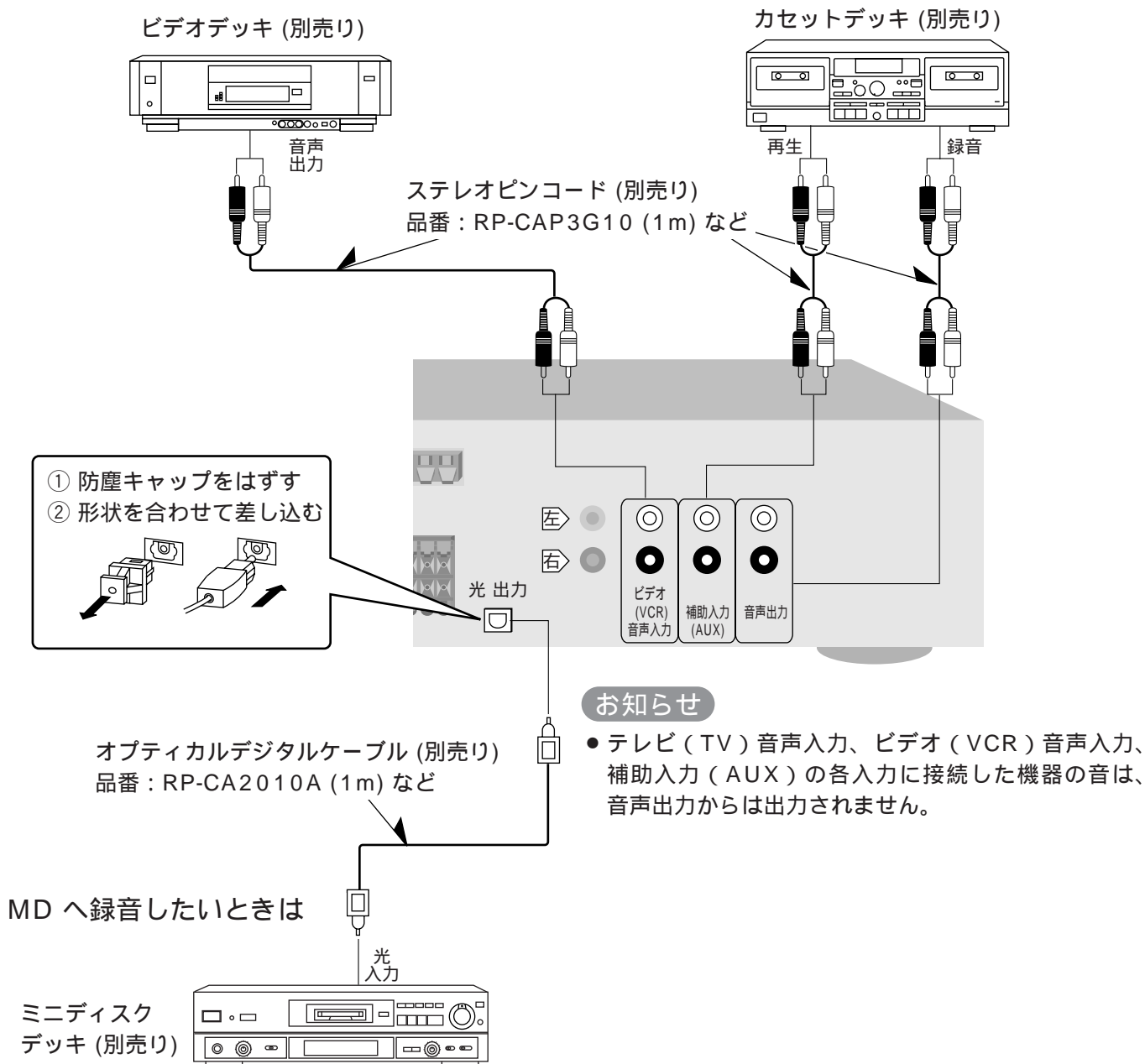
別売りの機器を接続する

下記は一例です。たとえば、カセットデッキのかわりにミニディスクデッキを接続したり、補助入力端子にアナログプレーヤーや LD プレーヤーを接続したりすることもできます。

お知らせ

- テレビ（TV）音声入力、ビデオ（VCR）音声入力、補助入力（AUX）の各入力に接続した機器の音は、音声出力からは出力されません。

MD へ録音したいときは

光
入力

ミニディスク
デッキ (別売り)

ドルビーデジタル、DTS 方式で記録されたディスクの音声をそのまま、ミニディスクデッキなどにデジタル録音することはできません。

初期設定の “ 6 デジタル出力 ” (⇒ 48 ページ）は次のように設定してください。

“ 1 PCM ダウンサンプリング変換 ” ⇒ “ 2 する ”
“ 2 Dolby Digital ” ⇒ “ 2 PCM ”
“ 3 DTS Digital Surround ” ⇒ “ 1 Off ”

アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー（レコードの音声信号を増幅するアンプ）内蔵のプレーヤーを “ 補助入力 (AUX) ” 端子に接続してください。

推奨品：**アナログプレーヤー**（別売り）
[品番 SL-J8 (フォノイコライザー内蔵)]

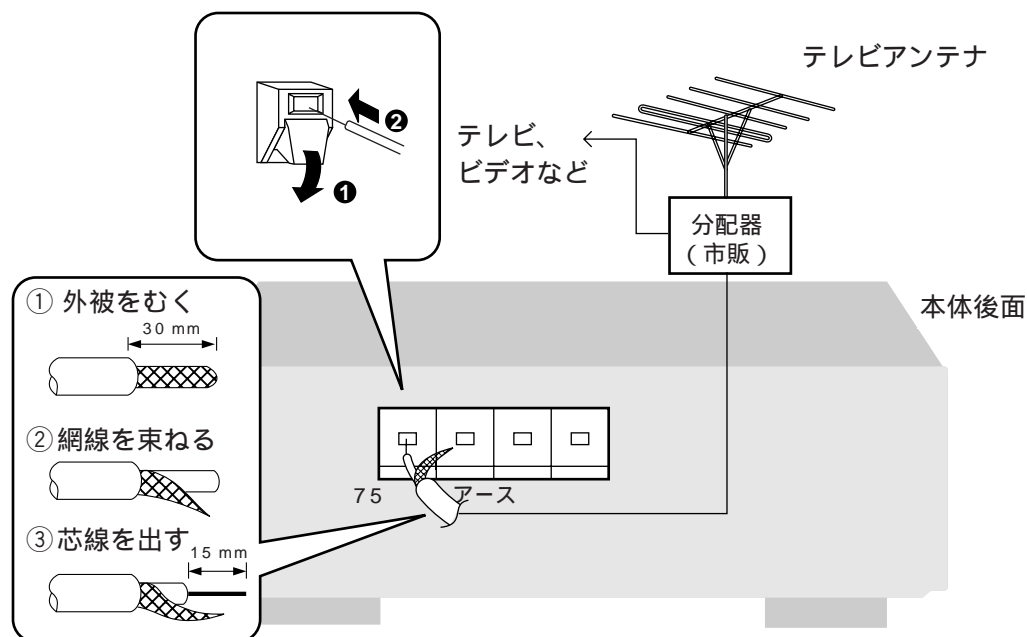
フォノイコライザーを内蔵していないプレーヤーを接続するには、フォノイコライザーを通して、“ 補助入力 (AUX) ” 端子に接続してください。そのまま接続すると音が小さくなります。

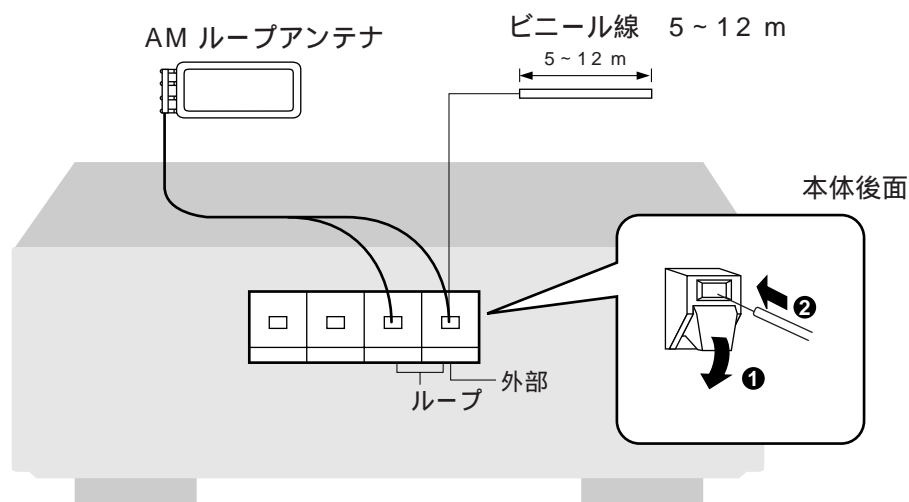
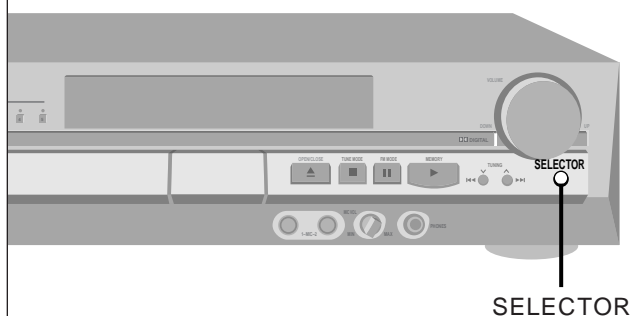
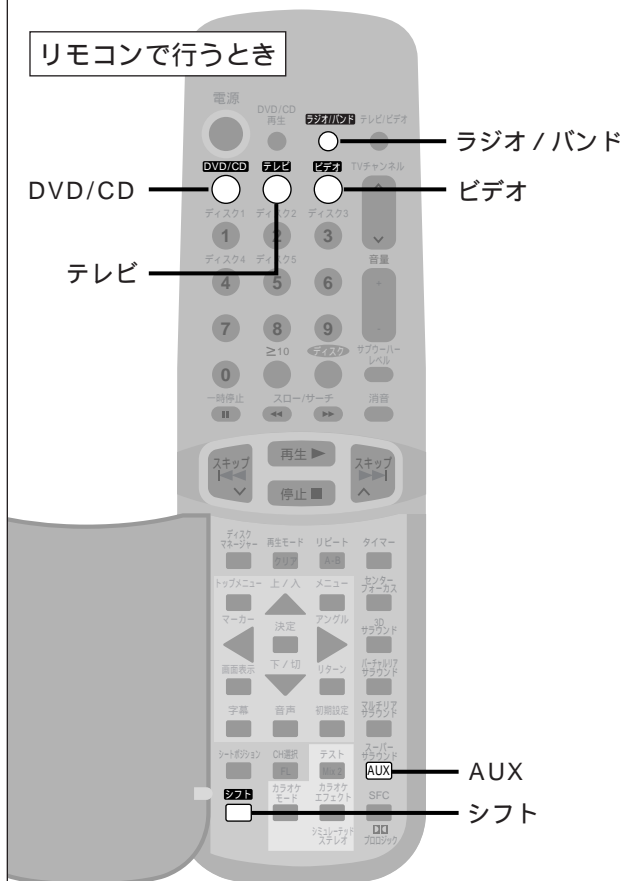
推奨品：**フォノイコライザー**（サービスルート扱い）
[品番 RFKZ0088KIT]

屋外アンテナを接続する

山間部や鉄筋コンクリート建のビルの中などで電波を受信しにくい場合は、屋外アンテナを接続してください。

FM (テレビアンテナの利用)

付属の FM アンテナははずしてください。

AM (市販のビニール線)

窓際などに、ビニール線を水平に取り付けます。
付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。

外部機器の操作

外部機器を再生する

本体の

1 [SELECTOR] を押して
“TV”、“VCR（ビデオ）”または“AUX”を選ぶ

リモコンでは
[テレビ] または [ビデオ] を押す。
または
[シフト] を押しながら [AUX] を押す。

2 外部機器の再生を始める

お知らせ

● 外部機器（カセットデッキなど）でカラオケを楽しむこともできます。

外部機器に録音する

本体の

1 [SELECTOR] を押して
“DVD/CD”、“FM”または“AM”を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] または [ラジオ/バンド] を押す。

2 外部機器で録音をスタートし、ソースの再生を始める

お知らせ

●“TV”、“VCR”、“AUX”の入力を選んでも、外部機器には録音できません。

本機のリモコンでテレビを操作する

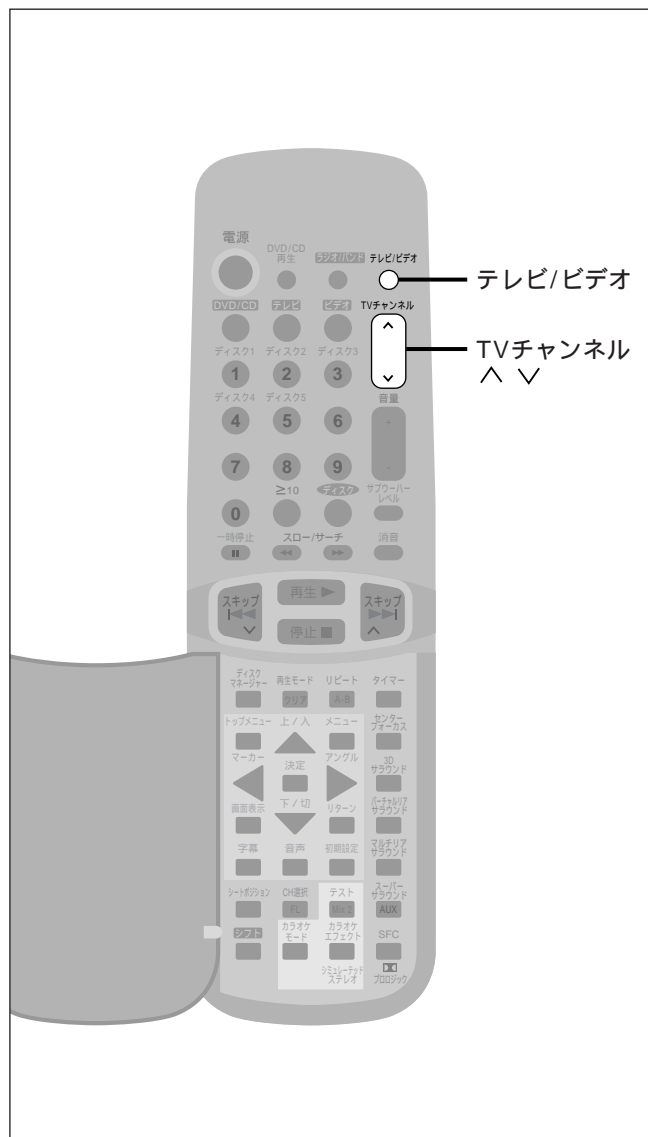
チャンネルを切り換える

TVチャンネル [∧] または [∨] を押して
チャンネル番号を指定する

テレビ/ビデオモードを切り換える

[テレビ/ビデオ] を押す

お知らせ

- 本機のリモコンで操作できるのは、当社製のテレビのみです。
- 一部の機種では操作できないものもあります。

基本設定について

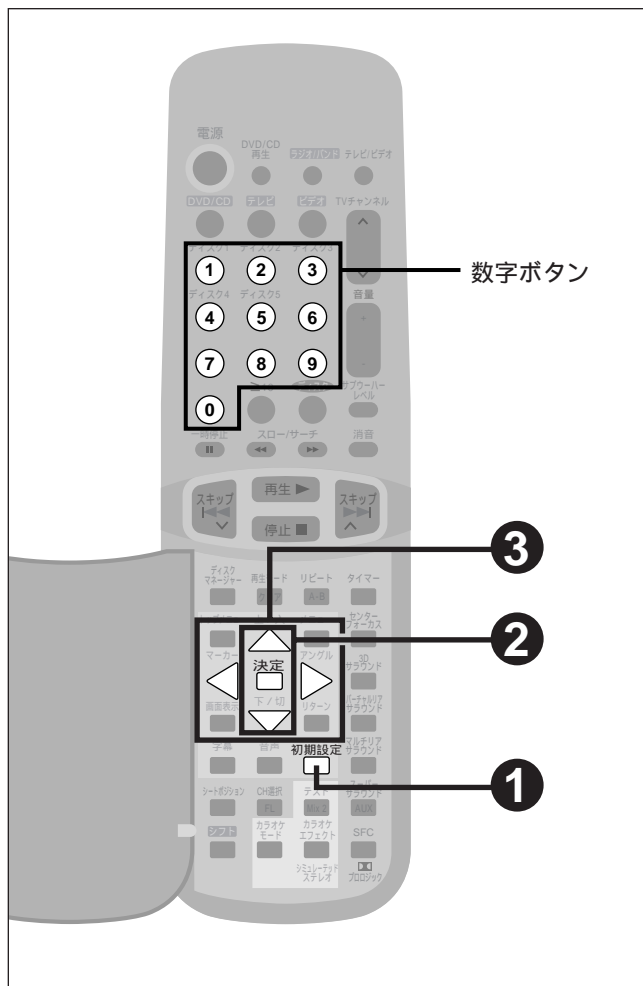
初期設定一覧

本システムの初期設定は以下のようになっています。
この設定は、接続するテレビ画面についての設定 (⇒ 12 ページ) さえ行なっていただければ、特に変更する必要はありません。(本機には 8 の項目はありません。)

項目	初期設定		変更可能な設定
1 ディスク言語	1 音声言語	1 日本語	1 日本語　2 英語 3 オリジナル　4 その他＊＊＊＊
	2 字幕言語	1 オート	1 オート　2 日本語 3 英語　4 その他＊＊＊＊
	3 メニュー言語	1 日本語	1 日本語 2 英語 3 その他　＊＊＊＊
2 視聴制限	8 すべて視聴可		8 すべて視聴可 ～ 0 すべて不可 7 ～ 0 設定時には暗証番号を設定 暗証番号の変更も可
3 画面メニュー言語	1 日本語		1 日本語 2 English
4 オンスクリーン	1 画面メッセージ	1 入	1 入 2 切
	2 色と位置	1 青色	1 青色 2 紫色 3 緑色 4 青色 5 紫色 6 緑色
5 接続する TV	1 4:3		1 4:3 2 16:9
6 デジタル出力	1 PCM ダウンサンプリング変換	1 しない	1 しない 2 する
	2 Dolby Digital	1 Bitstream	1 Bitstream 2 PCM
	3 DTS Digital Surround	1 Off	1 Off 2 Bitstream
7 スピーカー設定	センターディレイタイム	0 ms	0 ms 1.3 ms 2.6 ms 3.9 ms 5.3 ms
	サラウンドディレイタイム	0 ms	0 ms 5.3 ms 10.6 ms 15.9 ms
9 エキスパート設定	1 スチルモード	1 オート	1 オート 2 フィールド 3 フレーム
	2 早送りの時の音声	1 あり	1 あり 2 なし
	3 TV モード (4:3)	1 パン＆スキャン	1 パン＆スキャン 2 レターボックス
	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	1 切	1 切 2 入
	5 I/P/B インジケーター	1 しない	1 しない 2 する

初期設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。元に戻したい場合は再度設定をしなおす必要があります。

設定内容
スピーカーから出力される音声言語の種類を設定 (ただし、ディスクによっては、ディスクの情報が最優先される場合あり。)
テレビに表示される字幕言語の種類を設定 (ただし、ディスクによっては、ディスクの情報が最優先される場合あり。)
タイトルメニューなど画面表示される言語の種類を設定
DVD ソフトの視聴制限のレベルを設定 (ただし、ソフトに記録されていることが条件。ディスクに " 視聴制限設定付属 " 等の記載あり。) レベル 8:すべてのソフトを再生 レベル 7 〜 レベル 1:一部の DVD ソフトの再生禁止 (どのレベルになるかはソフトの記録による。) レベル 0:全ての DVD ソフトの再生を禁止
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される " 再生 " などの言語を設定
" 再生 " や " 停止 " などの表示を常にテレビ画面に表示するかしないかを設定
" 再生 " や " 停止 " などの表示および GUI 画面/カラオケ GUI 画面の色と表示位置を設定
接続するテレビの画面サイズ (4:3 または 16:9) を設定
デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定 " 2 Dolby Digital " および " 3 DTS Digital Surround " で " Bitstream " を選択すると、光出力端子からはデコードされる前の信号が出力されます。(⇒ 58 ページ)
センタースピーカーとサラウンドスピーカーのディレイタイム (遅延時間) を設定
静止中の画面に発生する画像のブレ、小さな文字や細かい絵柄の見え方を設定 フィールド:静止画面を常にブレないようにするとき フレーム:静止画面を常にはっきりさせたいとき
早送り 1 の時の音声の有無を設定
4:3 サイズのテレビを接続している時、ワイドで記録されたソフトを再生したときにテレビ画面にどのように表示されるかを設定
ソフト再生時の音域を設定 (ドルビーデジタルのみ) DVD のダイナミックレンジ (音量の大小の差) を少なくすることができる。
静止時に、DVD の画像の種類 (I/P/B) をテレビ画面に表示するかしないかを設定

初期設定を変更する

停止中にリモコンの

❶ **[初期設定] を押して**
初期設定画面を出す

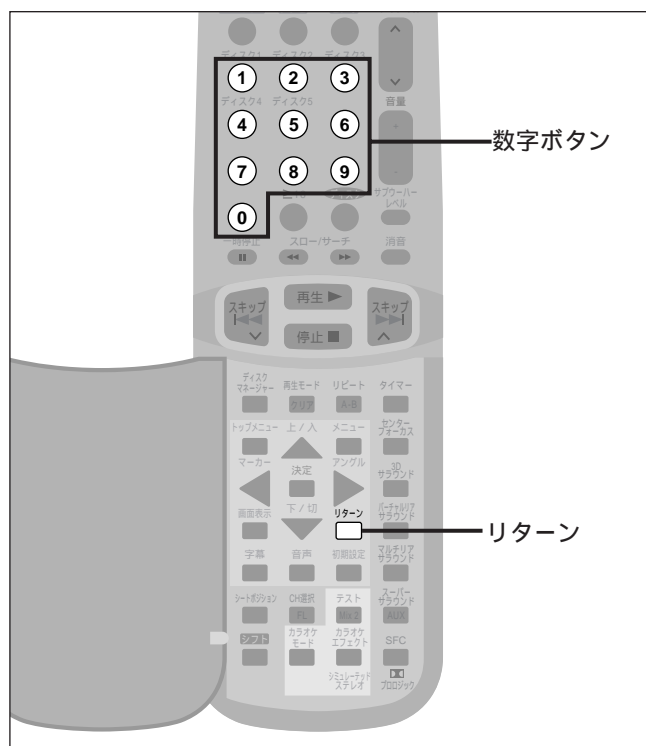
テレビ画面 (例)

❷ **[△] または [▽] を押して**
変更したい項目を選び、
[決定] を押す

❸ **[◁] [▷] [△] または [▽] を押して**
設定を変更し
[決定] を押す

画面の指示に従って、手順3を繰り返します。
（何回繰り返すかは設定項目によります）

お知らせ

- 各項目の前に、数字の記載がある場合は、その数字ボタンを押しても選択できます。
- 視聴制限は一時解除することもできます。（電源を切ったり、ディスクを取り出したり、入力を切り替えると一時解除は取り消されます。）

■ **前の画面に戻るには**

リモコンの

[リターン] を押す。

■ **視聴制限の設定で暗証番号を入力するときは**

リモコンの

数字ボタンで4桁の数字を入力する。

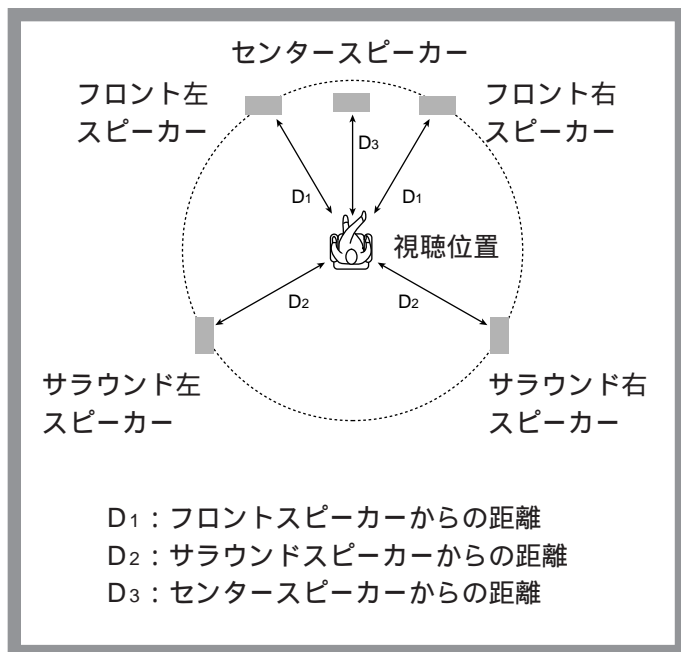
■ **初期設定画面を終了させるには**

初期設定画面でリモコンの

[リターン] を押す。

言語コード一覧 (⇒ディスク言語で使用します)

6565：アファル
6566：アブハジア
6570：アフリカーンス
6577：アムハラ
6582：アラビア
6583：アッサム
6588：アイマラ
6590：アゼルバイジャン
6665：バシキール
6669：ベロルシア (白ロシア)
6671：ブルガリア
6672：ビハール
6678：ベンガル (バングラ)
6679：チベット
6682：ブルターニュ
6765：カタロニア
6779：コルシカ
6783：チェコ
6789：ウェールズ
6865：デンマーク
6869：ドイツ
6890：ブータン
6976：ギリシア
6978：英語
6979：エスペラント
6983：スペイン
6984：エストニア
6985：バスク
7065：ペルシア
7073：フィンランド
7074：フィジー
7079：フェロー
7082：フランス
7089：フリジア
7165：アイルランド
7168：(スコットランド) ゲール
7176：ガリチア
7178：グアラニー
7185：グジャラト
7265：ハウサ
7273：ヒンディー
7282：クロアチア
7285：ハンガリー
7289：アルメニア
7365：インターリングア
7378：インドネシア
7383：アイスランド
7384：イタリア
7387：ヘブライ
7465：日本語
7473：イディッシュ
7487：ジャワ
7565：グルジア
7575：カザフ
7576：グリーンランド
7577：カンボジア
7578：カンナダ
7579：韓国 (朝鮮) 語
7583：カシミール
7585：クルド
7589：キルギス
7665：ラテン
7678：リンガラ
7679：ラオ
7684：リトアニア
7686：ラトビア (レット)
7771：マダガスカル
7773：マオリ
7775：マケドニア
7776：マラヤーラム
7778：モンゴル
7779：モルダビア
7782：マラッタ
7783：マライ (マレー)
7784：マルタ
7789：ビルマ
7865：ナウル
7869：ネパール
7876：オランダ
7879：ノルウェー
7982：オーリヤ
8065：パンジャブ
8076：ポーランド
8083：パシュト
8084：ポルトガル
8185：ケチュア
8277：レトロマンス
8279：ルーマニア
8285：ロシア
8365：サンスクリット
8368：シンド
8372：セルボクロアチア
8373：シンハラ
8375：スロバキア
8376：スロベニア
8377：サモア
8378：ショナ
8379：ソマリ
8381：アルバニア
8382：セルビア
8385：スンダ
8386：スウェーデン
8387：スワヒリ
8465：タミル
8469：テルグ
8471：タジク
8472：タイ
8473：ティグリニア
8475：トルクメン
8476：タガログ
8479：トンガ
8482：トルコ
8484：タタール
8487：トウイ
8575：ウクライナ
8582：ウルドゥー
8590：ウズベク
8673：ベトナム
8679：ヴォラピュック
8779：ウォロフ
8872：コーサ
8979：ヨルバ
9072：中国語
9085：ズールー

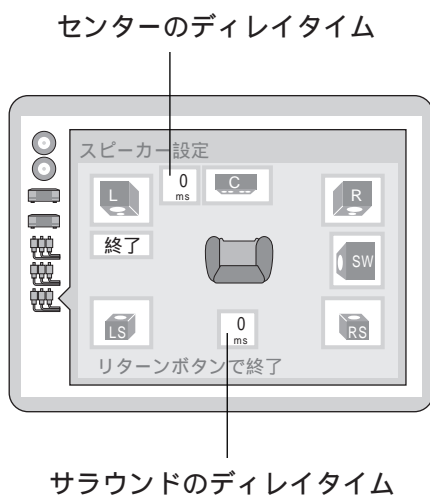
ディレイタイムの算出方法

スピーカーを置く位置によって、各スピーカーから音が届くタイミングが異なります。この差を補正するために、センターとサラウンドスピーカーから音が届くまでの時間 (ディレイタイム) を調整します。

センタースピーカーのディレイタイム

$D_1 \leqq D_3$		0 ms
$D_1 > D_3$	約 50 cm のとき	1.3 ms
	約 100 cm のとき	2.6 ms
	約 150 cm のとき	3.9 ms
	約 200 cm のとき	5.3 ms

サラウンドスピーカーのディレイタイム

$D_1 \leqq D_2$		0 ms
$D_1 > D_2$	約 200 cm のとき	5.3 ms
	約 400 cm のとき	10.6 ms
	約 600 cm のとき	15.9 ms

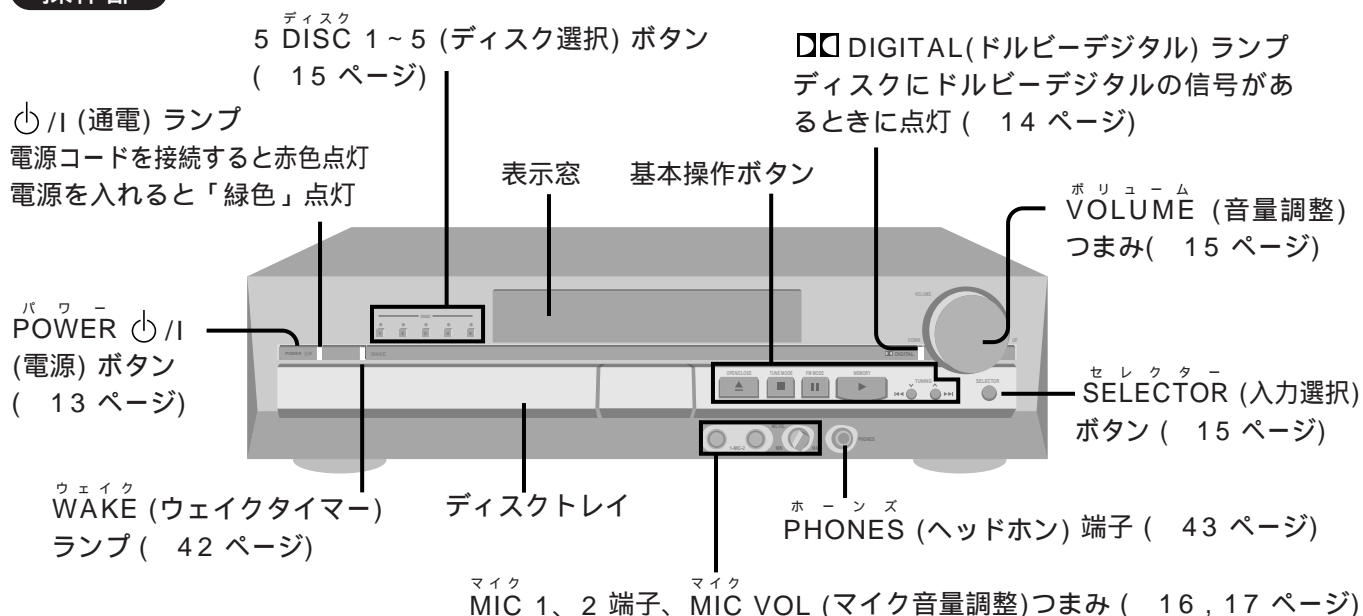
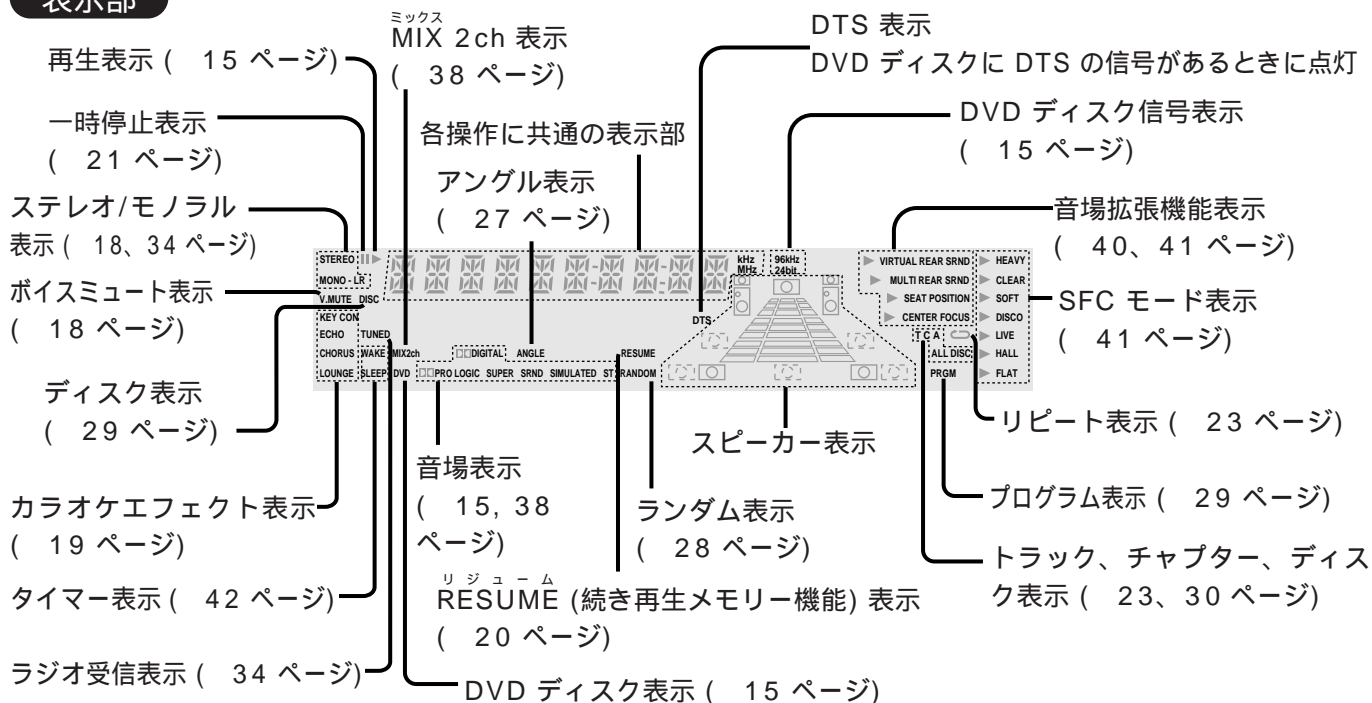
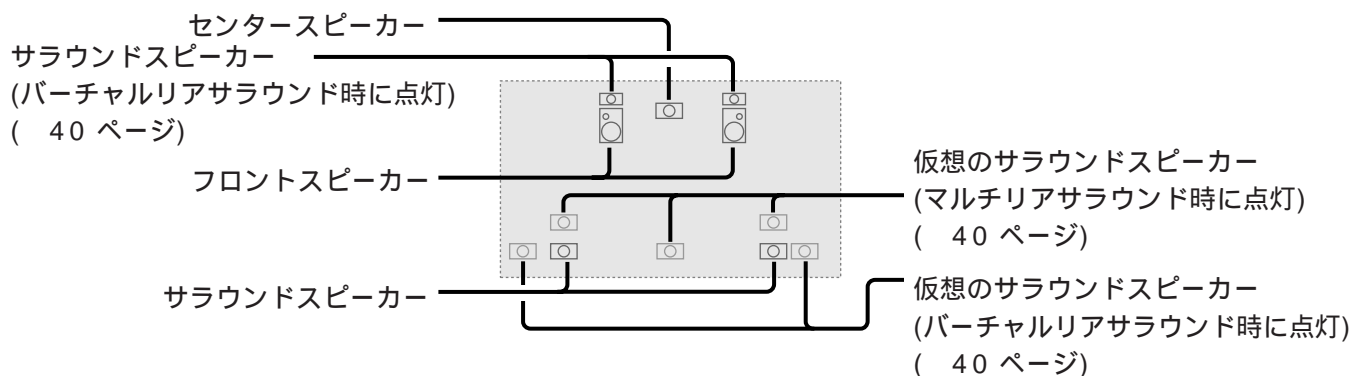
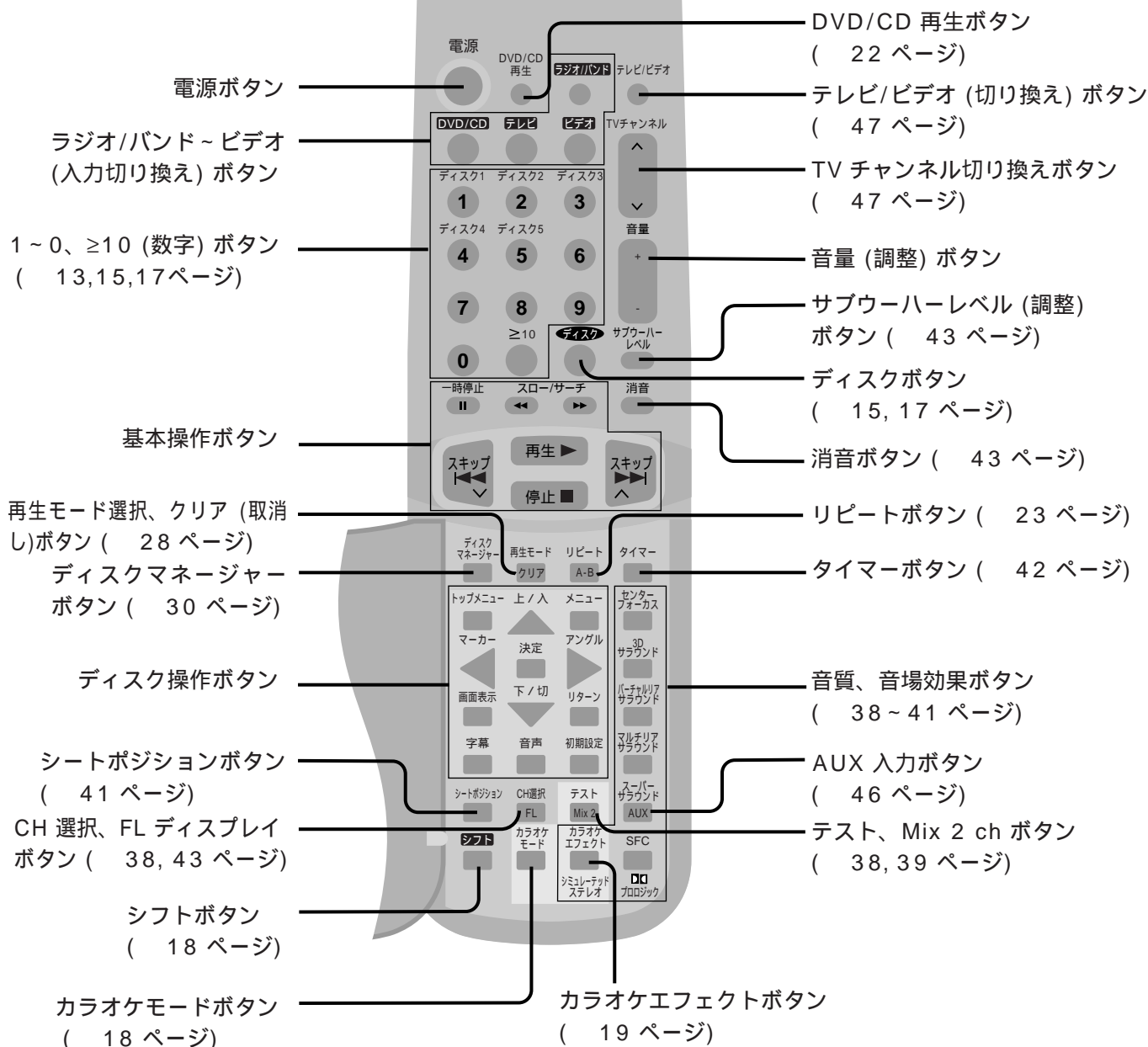
スピーカー設定のテレビ画面

テレビ画面一覧

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ (画質モード) との関係で以下の画面になります。

テレビ (画質モード) / ソフト	4：3	16：9 (フルモード)	16：9 (ズームモード)	16：9 (オートモード)
ワイドソフト (パン＆スキャン指定あり)	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
ワイドソフト (パン＆スキャン指定なし)	レターボックス (上下に黒い帯)			
4：3 のソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面 (左右に黒い帯)
4：3 のソフト (レターボックス)	レターボックス (上下に黒い帯)	左右にのびた画面 (上下に黒い帯)	フル画面	左右両端がのびた画面 (上下に黒い帯)

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側 (または片側) をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。
- レターボックスとは、ワイド (16：9) のソフトを再生するときに、画面サイズの不足分を埋めるために、画面の上下に黒帯を入れたものです。

各部のなまえ

操作部

表示部

■ スピーカー表示について

リモコン

点灯	実際に音の出ているスピーカーを示します。
点滅	出力レベル調整中のスピーカーを示します。
仮想のスピーカー	あたかもそこにスピーカーがあるかのように聞こえます。

使用上のお願い

ディスクについて

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
(機器の故障の原因になります。)

■ 持ちかた

■ 汚れたときは

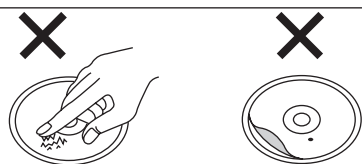
水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したディスクは使わない

ディスクの保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■ 本機が汚れたら

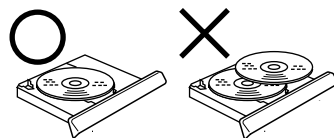
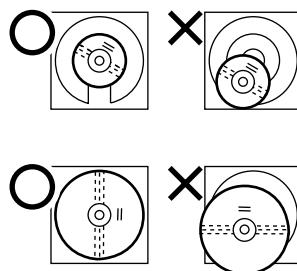
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を移動するときは

1. ディスクをすべて取り出す
2. [POWER] を押して電源を切る
3. 電源プラグを抜く

ディスクメカの故障防止のために

- トレイには、1 枚のディスクを入れる

- ディスクは、図の位置に正しく置く
- シングルディスク (8 cm ディスク) アダプターを使わない
- 水平なところで使用する。本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください
- トレイが動いている間や、ディスクを入れたまま本機を移動しない
- トレイにディスク以外のものを入れない
- クリーニングディスク、そりの大きなディスク、割れたりヒビの入っているディスクを使わない

主な仕様

■ アンプ部

実用最大出力 (全高調波ひずみ率　10 %)

		総合出力　300 W
フロント L/R	1 kHz	36 W×2 (6 Ω)
センター	1 kHz	36 W (6 Ω)
サラウンド L/R	1 kHz	36 W×2 (6 Ω)
サブウーハー	80 Hz	120 W (6 Ω)

定格出力 (全高調波ひずみ率　1 %)

		総合出力　240 W
フロント L/R	1 kHz	30 W×2 (6 Ω)
センター	1 kHz	30 W (6 Ω)
サラウンド L/R	1 kHz	30 W×2 (6 Ω)
サブウーハー	80 Hz	90 W (6 Ω)

入力感度/入力インピーダンス
AUX　250 mV/10 kΩ
MIC　0.7 mV/600 Ω

■ FM チューナー部

受信周波数帯　76.0～90.0 MHz (100 kHz ステップ)
実用感度　16.3 dBf (1.8 μV、IHF'58)
アンテナ端子　75 Ω (不平衡型)

■ AM チューナー部

受信周波数帯　522～1629 kHz (9 kHz ステップ)
実用感度 (S/N 20 dB)　500 μV/m

■ ディスク部

<ディスク>
DVD VIDEO
8 cm/12 cm　片面、1 層
8 cm/12 cm　片面、2 層
8 cm/12 cm　両面、2 層 (1 層/片面)
CD/ビデオCD　8 cm/12 cm

<ビデオ>
信号方式　NTSC
出力レベル
コンポジットビデオ　1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ　Y　1 Vp-p (75 Ω)
S-ビデオ　C　0.286 Vp-p (75 Ω) (NTSC)
コンポーネント映像出力
Y 出力レベル　1 Vp-p (75 Ω)
C_B 出力レベル　0.7 Vp-p (75 Ω)
C_R 出力レベル　0.7 Vp-p (75 Ω)
出力端子　Pin jack (Y: 緑、C_B: 青、C_R: 赤)

<オーディオ>
標本化周波数
CD　44.1 kHz
DVD　48 kHz/96 kHz
量子化　16/20/24 ビット直線
ワウ・フラッター　測定限界以下
デジタルフィルター　8 fs
D/A コンバーター　デルタ-シグマ DAC
ピックアップ
光源：　半導体レーザー
波長：　665 nm

■ 本体総合

電源　AC 100 V　50/60 Hz
消費電力　145 W
寸法 (幅×高さ×奥行)　430×114×368 mm
質量　約 8.4 kg

電源ボタンスタンバイ ⏻ 時の消費電力 0.25 W

■ スピーカー部

<SB-AFC80-S>
(フロント L/R、センター、サラウンド L/R)
型式
1 ウェイ　スピーカーシステム　バスレフ型
フルレンジ　8 cm コーン型
インピーダンス　6 Ω
許容入力　60 W (MUSIC)/30 W (DIN)
出力音圧レベル　79 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域　80 Hz～22 kHz (−16 dB)
110 Hz～20 kHz (−10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)　88×158×105 mm
質量　約 0.8 kg

<SB-W80A-S> (サブウーハー)
型式
1 ウェイ　スピーカーシステム　バスレフ型
ウーハー　17 cm コーン型
インピーダンス　6 Ω
許容入力　180 W (MUSIC)/90 W (DIN)
出力音圧レベル　80 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域　41 Hz～1.8 kHz (−16 dB)
45 Hz～1.6 kHz (−10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)　200×450×300 mm
質量　約 5.9 kg

注)
1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

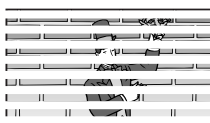
用語解説

映像についての用語

フレーム

動画の 1 コマ 1 コマのこと。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ (静止画像) を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド

1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。

1 フィールド

フレームスチル/フィールドスチル

動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、 2 フィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質はよくなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B

DVD で採用されている映像方式 MPEG 2 では、1 画面 (フレーム) を、以下の 3 つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。
I: I-Picture (フレーム内符号化)
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。
P: P-Picture (前方向予測符号化)
過去の Picture (I または P) から算出される画面。
B: B-Picture (両方向予測符号化)
前後の Picture (I または P) の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

デジタル音声ついての用語

デコーダー

DVD などに符号化して記録した音声データーを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを収録できます。

dts (digital theater systems)

DTS 社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

サンプリング周波数

サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、一つ一つの波の高さを数値化すること。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

リニア PCM (Pulse Code Modulation) (パルス コード モジュレーション)

音楽 CD などで一般に使用されているデジタル信号方式。DVD ディスクは容量が多いため、CD 以上のサンプリング周波数を用いたリニア PCM 信号を収録することができます。

Bitstream (ビットストリーム)

5.1 ch などの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

その他の用語

トラック

CD、ビデオ CD の小さな区切り。

チャプター

DVD ビデオの小さな区切り。CD などのトラックに当たります。

タイトル

DVD ビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール (PBC)

バージョン 2.0 のビデオ CD で使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

Q ＆ A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。	現在、アンプの“ フォノ ”または“ プレーヤー ”端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ (サービスルート扱い) が必要です。 そのまま接続すると、増幅機能がないため音が小さくなります。	44
	有線放送を接続したい。	本機の“ 補助入力 (AUX) ”に接続します。	44
	他のスピーカーを接続したい。	<u>付属のスピーカー以外はご使用になれません。</u> 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、音の特性などが悪くなるほか、故障の原因にもなります。	－
ディスクについて	海外で購入した DVD などのビデオディスクを再生したい。	DVD ビデオディスクにはリージョン番号があり、プレーヤーとその番号が合致していないと再生できません。 また、PAL 方式で記録されているディスクは再生できません。	2, 7
	DVD の映画をビデオにダビングしたい。	ほとんどの DVD ディスクにはコピーガードがかけられているため、ダビングすることはできません。	－
	DVD の音声が低いようだが。	DVD の音は一般に他のソフトの音より小さく感じられます。もし、音量を上げて聞いた場合は、再生後に必ず下げておいてください。他のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。	－
その他	引っ越しするのだが、そのまま使えるか。	東日本、西日本に関係なく使えます。	－
	SUBWOOFER (サブウーハー) が効かないが。	SUBWOOFER は、そのソフトに含まれている低音の成分によって効果が異なります。また、ヘッドホンでは十分な効果で聞くことはできません。	－
	カラオケでサラウンド効果を効かせたいが。	本機では、マイクを接続するとセンター／サラウンドスピーカーから音が出なくなるため、ドルビープロロジックなどのサラウンド効果は使えません。 カラオケエフェクト、SFCを効かせてお楽しみください。	19, 41
	長時間使用していると本体が熱くなるが大丈夫か。	大丈夫です。 ただし、本体の上に物を置いて放熱を妨げることはしないでください。特に、通風孔はふさがないでください。	－

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
システム全体に共通	電源が入らない。	● 電源プラグが抜けていないか確認してください。	10
	音が出ない。	● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME］で調整してください。 ● ミューティング（消音）になっていないか確認してください。 ● スピーカーが正しく接続されているか確認してください。	15,17 43 8
	音の位置が定まらない。または左右が逆になる。	● スピーカーコードの（左）（右）⊕ ⊖ を確認し、正しく接続してください。	8
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る。	● 電気器具の電源コードや蛍光灯が本機の近くにある場合は、離してください。	ー
	演奏中に音が出なくなった。	● スピーカーコードがショートしていませんか。その場合はいったん本機の電源を切り、接続を直してからもう一度電源を入れてください。	8
	パネルの照明が消えている。	● リモコンの［FL］を押して表示窓を点灯させてください。	43
	“ ERROR ” 表示が出る。	● 間違った操作をしたためです。もう一度、操作方法を確かめてください。	ー
	“ F□□ ” 表示が出る。	● □□は数字を表します。 トラブルが生じました。お買い上げの販売店にご相談下さい。	ー
	サブウーハーから音が出ない。	● サブウーハーレベルが “ 0 ” になっていないか確認してください。	43
	5.1 ch サラウンドのソフトを再生しているのに、センターやサラウンドスピーカーから音が出ない。	● マイクを接続していませんか。 マイクを接続していると、強制的にステレオ（2 ch）になり、センターやサラウンドスピーカーから音がでません。	16
ラジオ	FM がよく受信できない。雑音やひずみが多い。	● FM 簡易型アンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。 ● 送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。テレビのアンテナを利用したり、また、音にひずみが多い場合は、より高感度のアンテナが必要になる場合もあります。	10 ー 45
	AM がよく受信できない。雑音が多い。	● AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。 ● アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。 ● 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。	10 ー ー 45

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
ディスク	演奏できない。 ディスクを入れても曲数などが表示されない。	● ディスクが表裏逆に入っていませんか。 ● 規格外のディスクを使っていませんか。 ● ディスクがひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。 ● 寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	15,17 56 56 –
	特定の箇所が演奏できない。	● ディスクが汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	56
	CD を再生しようとしたが雑音しか出ない。	● ディスクを確認してください。 DTS の CD の可能性があります。本機では DTS の音声は再生できません。	–
	“DTS NO AUDIO”の表示が出る。	● 本機では DTS の音声は再生できません。	–
	“DVD U11”の表示が出る。	● ディスクが汚れています。柔らかい布でふいてください。	56
	“DVD H□□”の表示が出る。	● トラブルが生じました。電源を切ってから、電源プラグも抜いてください。しばらくしたら、もう一度、電源プラグを差し込み、正常に動作するか、確かめてください。 それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	“DISC/TAKE OUT”の表示が出る。	● トラブルが生じました。トレイが自動的に開きますので、ディスクを取り出して、トレイを閉じてください。 しばらくの間、ディスクをチェンジしている音がしますが、すぐに正常に戻ります。	–
	視聴制限の暗証番号を忘れた。	● 停止状態で、本体の [■] を押しながら、リモコンの [≥10] を押してください。 表示窓に“INITIALIZE”の文字が表示され、テレビ画面には“オールクリア”と表示されます。	–
	初期設定で変更した好みの言語や字幕にならない。	● 初期設定を変更して音声言語や字幕言語にある種の設定をしても、ディスクにそれらについての優先に関する情報の記録がある場合は、それに従うため、好みの設定どおりにならない場合があります。	48 49

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
リモコン	リモコンが働かない。	● 乾電池の ⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ● 本機との間に障害物はありませんか。 ● 電池が消耗している場合は、新しい電池と取り替えてください。	6 6 –

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

６０～６１ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、DVD ホームシアターサウンドシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

フリーダイヤル（料金無料） **0120-878-365**（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

スピーカーについてのお知らせ

- 本機のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム <防磁設計 (EIAJ)> ですが、設置の仕方によっては、テレビに色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが起こるような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

※ <防磁設計 (EIAJ)> とは (社) 日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

別売り品の品番は、2000年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。

愛情点検

長年ご使用の DVD ホームシアターサウンドシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ **このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎ (　　) —	品番	SC-HT85
お客様ご相談窓口	☎ (　　) —	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5610-S
H0700HM0